

第4章 要支援・要介護認定者調査の結果

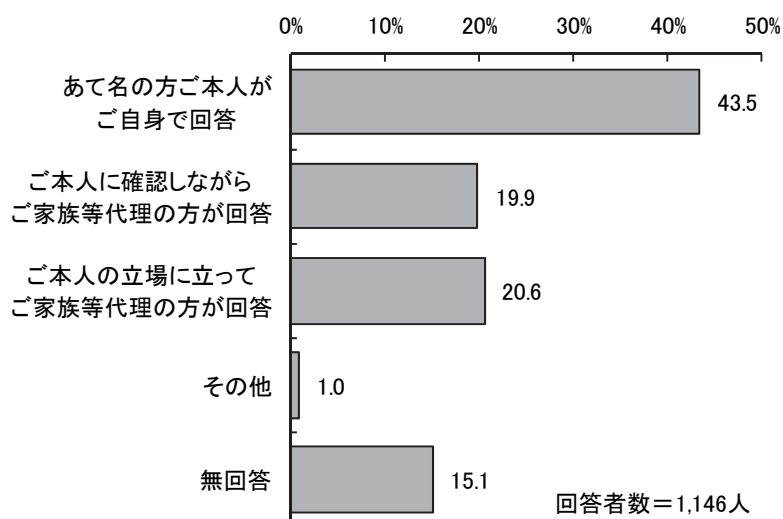
I 回答者の属性

1 調査の回答者

問1 この調査票はどなたが回答されますか。(1つに○)

調査の回答者は、「あて名の方ご本人がご自身で回答」43.5%、「ご本人の立場に立ってご家族等代理の方が回答」20.6%、「ご本人に確認しながらご家族等代理の方が回答」19.9%となっている。

図表4-1 調査の回答者



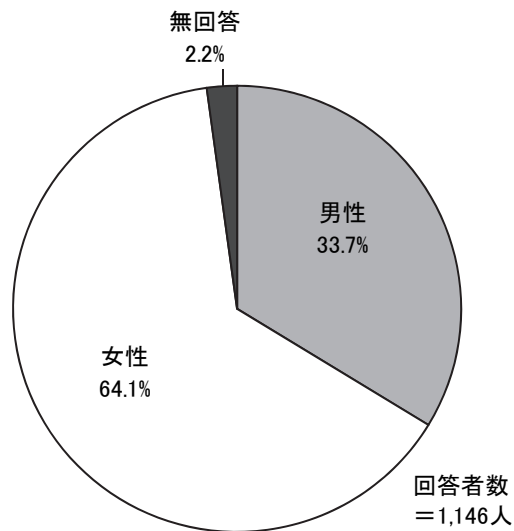
2 性別と年齢

問2 あなた(あて名のご本人)の性別と、平成25年9月1日現在の満年齢をお答えください。

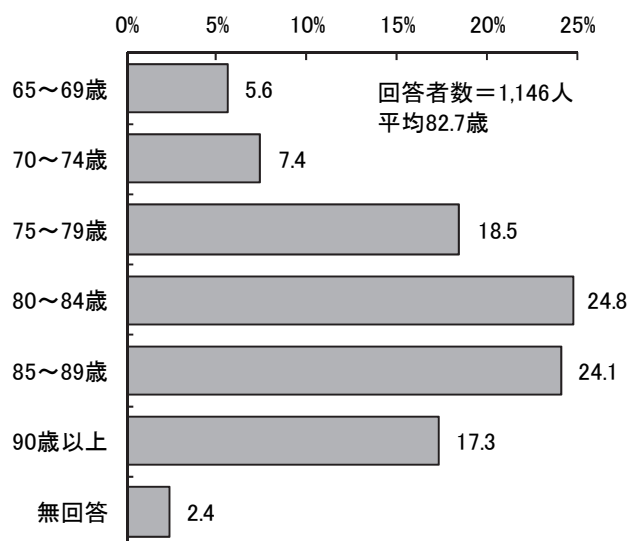
性別は、「男性」33.7%、「女性」64.1%と、女性が男性の2倍近くとなっている。

年齢は、「80～84歳」24.8%、「85～89歳」24.1%、「75～79歳」18.5%の順であり、平均82.7歳となっている。

図表4-2 性別



図表4-3 年齢



性別にみると、平均年齢は男性 80.5 歳に対して、女性は 83.7 歳と 3.2 歳高い。

要介護度別にみると、介護度の高い層に年齢層の高い人の割合が高く、平均年齢は要支援 1 の人は 81.0 歳、要介護 5 の人では 85.0 歳となっている。

居住地域別にみると、すべての地域で 82.0 歳を超えており、地域による顕著な差はみられない。

図表4-4 年齢

		回答者数(人)	65 ～ 69 歳	70 ～ 74 歳	75 ～ 79 歳	80 ～ 84 歳	85 ～ 89 歳	90 歳 以上	無 回 答	平均 年 齢
全 体		1,146	5.6	7.4	18.5	24.8	24.1	17.3	2.4	82.7
性別	男性	386	9.8	10.4	23.6	24.4	21.0	10.4	0.5	80.5
	女性	735	3.4	6.1	16.5	25.6	26.3	21.1	1.1	83.7
要介護度別	要支援 1	273	5.5	9.2	20.9	30.8	24.2	7.0	2.6	81.0
	要支援 2	226	4.9	5.3	19.0	27.0	28.3	14.2	1.3	82.8
	要介護 1	214	4.7	7.5	18.2	24.3	24.8	18.7	1.9	82.7
	要介護 2	187	7.0	9.1	19.8	13.4	24.6	24.6	1.6	83.1
	要介護 3	71	8.5	2.8	11.3	28.2	19.7	28.2	1.4	84.6
	要介護 4	52	7.7	7.7	21.2	17.3	17.3	28.8	0.0	83.7
	要介護 5	56	3.6	7.1	14.3	17.9	25.0	30.4	1.8	85.0
居住地域別	谷中地区	86	5.8	8.1	17.4	23.3	24.4	18.6	2.3	83.1
	台東地区	172	4.7	9.3	13.4	22.1	30.2	18.0	2.3	83.1
	蔵前地区	185	5.9	8.1	18.4	24.9	23.2	18.4	1.1	82.5
	浅草地区	189	7.4	7.9	18.0	24.3	23.8	18.5	0.0	82.4
	三ノ輪地区	144	7.6	4.9	26.4	20.8	24.3	16.0	0.0	82.3
	松が谷地区	192	4.7	6.8	18.8	29.2	22.4	17.2	1.0	82.7
	清川地区	136	4.4	5.9	21.3	30.1	22.8	14.7	0.7	82.5

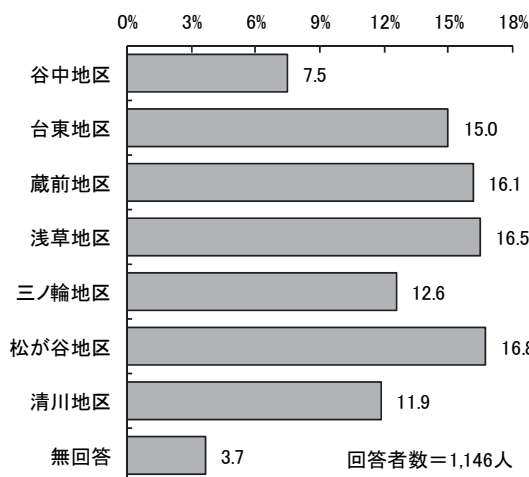
※ 居住地域は 4 ページの「居住地域区分」を参照。

3 居住地域

問3 お住まいはどこですか。記入例を参考に記入してください。丁目がない場合は、町名だけ記入してください。

居住地域は、「松が谷地区」が16.8%ともっとも高く、「谷中地区」が7.5%ともっとも低くなっている。

図表4-5 居住地域



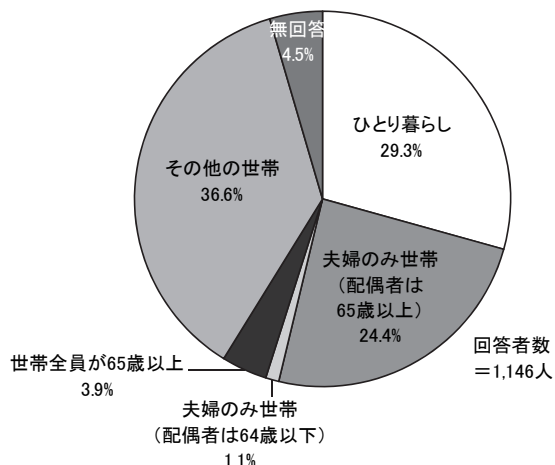
※ 居住地域は4ページの「居住地域区分」を参照。以下同じ。

4 家族構成

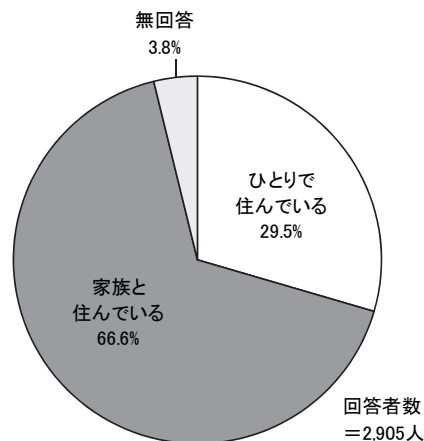
問4 あなたのご家族の構成は、次のうち、どれにあてはまりますか。(1つに○)

家族構成は、子ども等との同居世帯等である「その他の世帯」36.6%がもっとも高い。次いで「ひとり暮らし」29.3%、「夫婦のみ世帯（配偶者は65歳以上）」24.4%であり、これにひとり暮らし・夫婦のみ世帯を除く「世帯全員が65歳以上」3.9%をあわせた57.6%が“高齢者のみの世帯”となっている。

図表4-6 家族構成



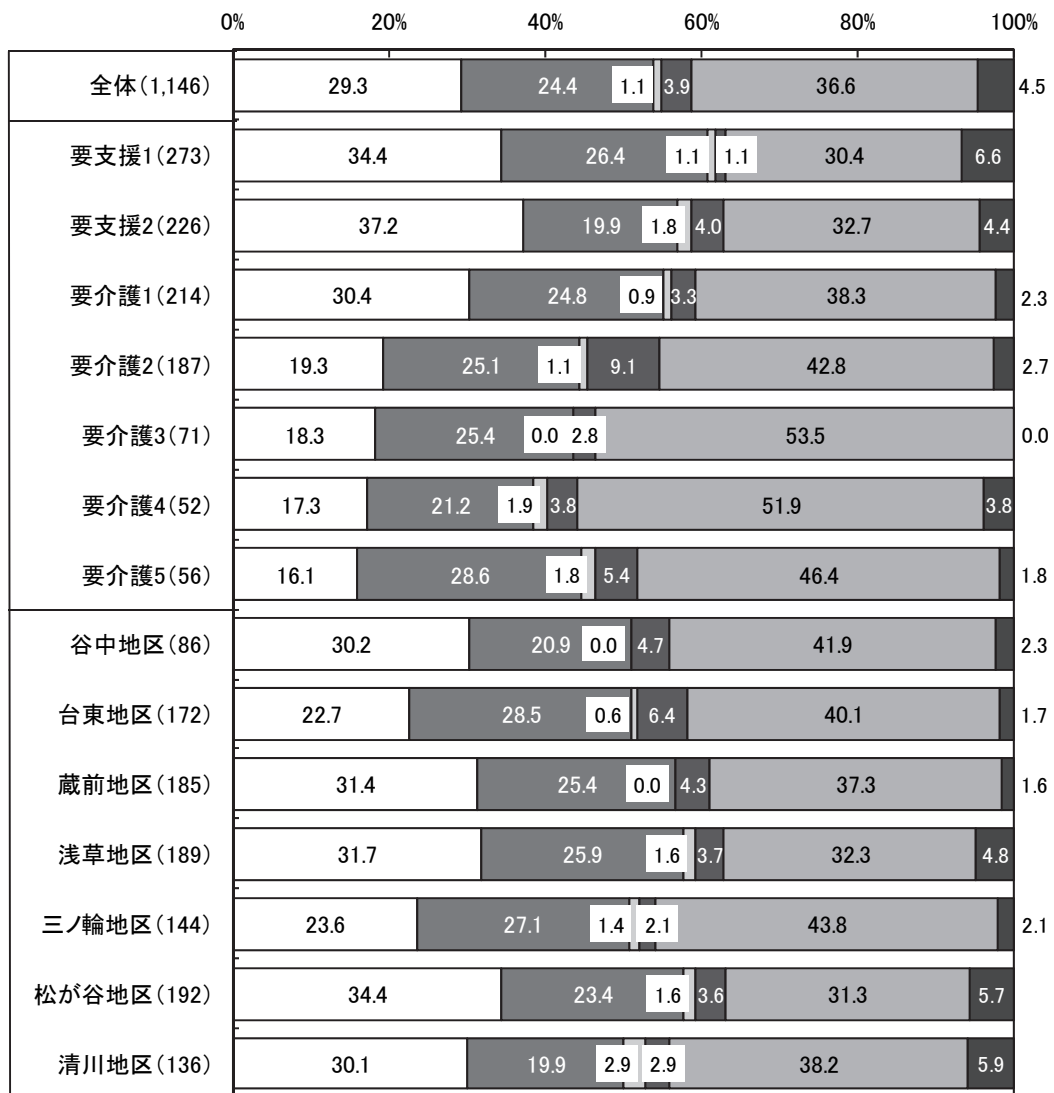
<前回調査>



要介護度別にみると、要支援1・2、要介護1の人では「ひとり暮らし」が3割を超えており、半数以上が「ひとり暮らし」または「夫婦のみ世帯」である。要介護5の人は「ひとり暮らし」が16.1%と他に比べて割合がもっとも低く、「夫婦のみ世帯（配偶者は65歳以上）」は28.6%と他に比べてもっとも高い割合となっている。

居住地域別にみると、松が谷地区は「ひとり暮らし」、他の地域は「その他の世帯」の割合が、それぞれもっとも高い割合となっている。

図表4-7 家族構成



()内は回答者数

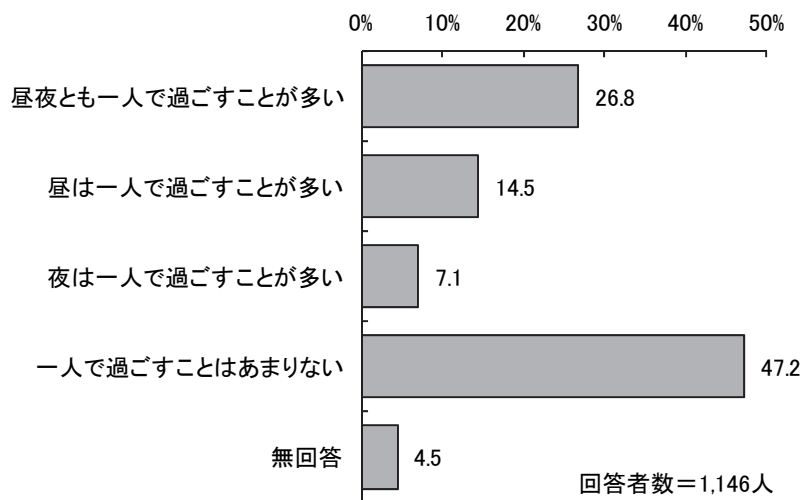
- ひとり暮らし
- 夫婦のみ世帯 (配偶者は65歳以上)
- 夫婦のみ世帯 (配偶者は64歳以下)
- 世帯全員が65歳以上
- その他の世帯
- 無回答

5 日中・夜間の独居状況

問5 1日の中で、一人になることがありますか。(1つに○)

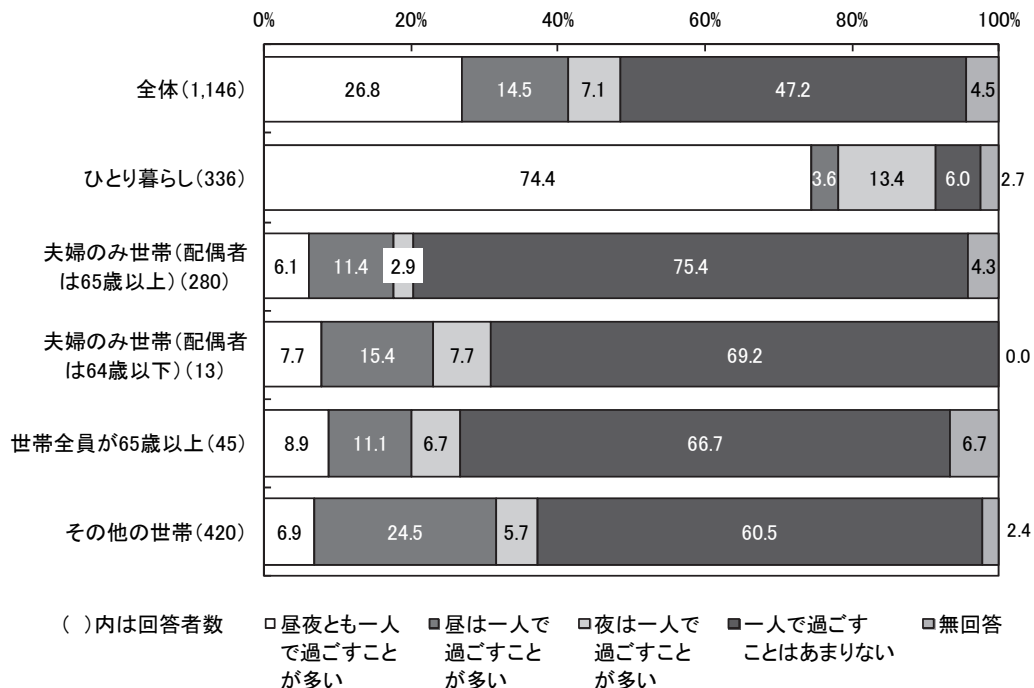
日中・夜間の独居状況は、「一人で過ごすことはあまりない」と回答した人が47.2%と最も高く、次いで「昼夜とも一人で過ごすことが多い」26.8%、「昼は一人で過ごすことが多い」14.5%、「夜は一人で過ごすことが多い」7.1%となっている。

図表4-8 日中・夜間の独居状況



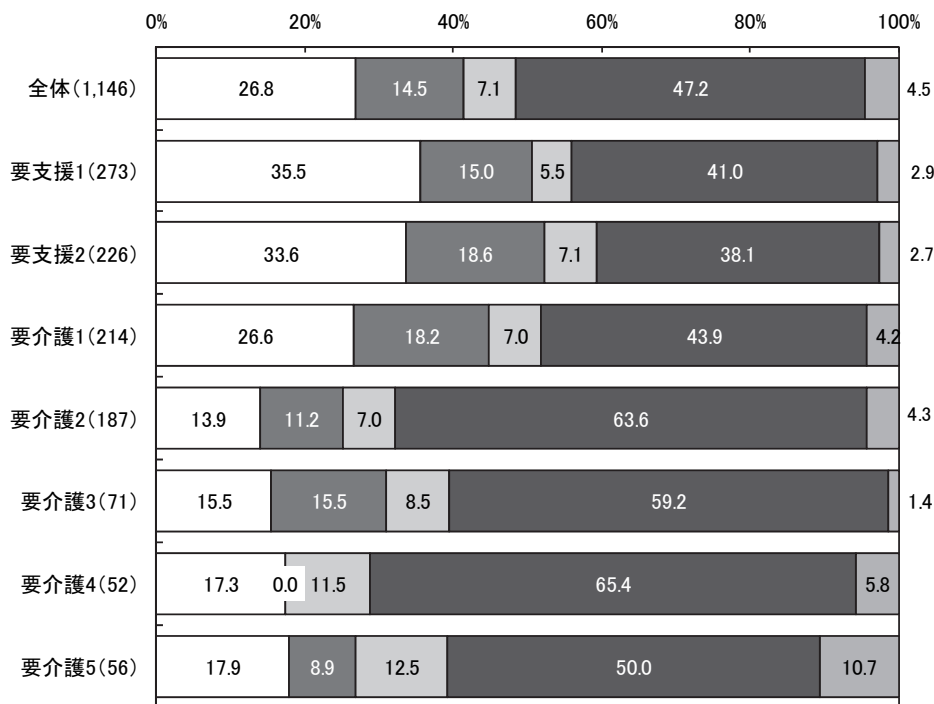
家族構成別にみると、ひとり暮らしの人では「昼夜とも一人で過ごすことが多い」と回答した人が74.4%を占めており、その他の世帯の人では「昼は一人で過ごすことが多い」と回答した人が24.5%と約4人に1人の割合となっている。

図表4-9 日中・夜間の独居状況



要介護度別にみると、要支援1・2の人は「昼夜とも一人で過ごすことが多い」と回答した人が3割を超え、要介護1以上の人に比べて高い割合となっている。また、要介護4の人は「一人で過ごすことはあまりない」と回答した人が65.4%と、他に比べて高い割合となっている。

図表4-10 日中・夜間の独居状況



()内は回答者数 □昼夜とも一人で過ごすことが多い □日は一人で過ごすことが多い □夜は一人で過ごすことが多い ■一人で過ごすことが多い □一人で過ごすことはあまりない □無回答

困ったときに頼れる人の有無別にみると、いない人では「昼夜とも一人で過ごすことが多い」と回答した人が63.5%と、他に比べて高い割合となっている。

図表4-11 日中・夜間の独居状況

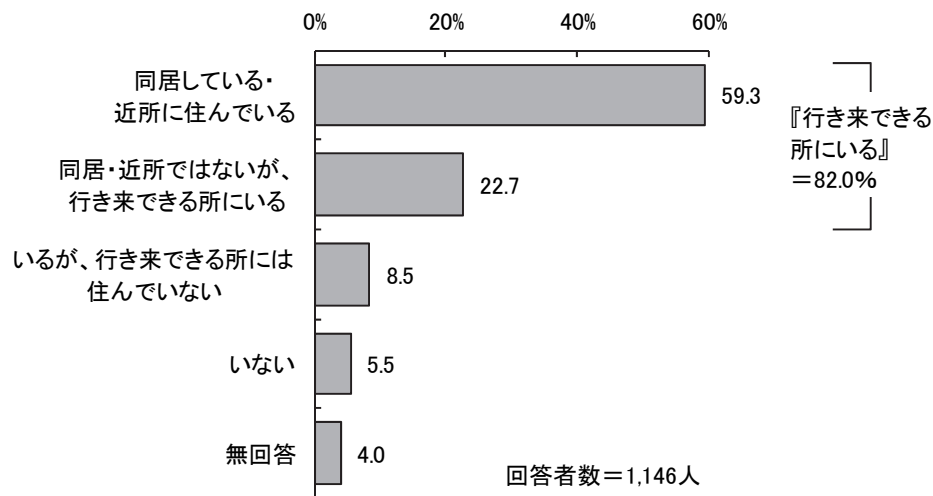
		回答者数(人)	昼夜とも一人で過ごすことが多い (%)	日は一人で過ごすことが多い (%)	夜は一人で過ごすことが多い (%)	一人で過ごすことはあまりない (%)	無回答 (%)
全体		1,146	26.8	14.5	7.1	47.2	4.5
頼れる人の有無別	同居している・近所に住んでいる	680	15.0	18.8	6.8	58.1	1.3
	同居・近所ではないが、行き来できる所にいる	260	42.3	10.8	7.7	35.8	3.5
	いるが、行き来できる所には住んでいない	97	50.5	7.2	11.3	28.9	2.1
	いない	63	63.5	3.2	3.2	25.4	4.8

6 困ったときに頼れる人の有無

問6 日常生活で困ったときや相談したいときに、頼れる(手助けしてくれる)家族・知人等がいますか。(1つに○)

困ったときに頼れる人が「同居している・近所に住んでいる」と回答した人は59.3%、であり、「同居・近所ではないが、行き来できる所にいる」22.7%をあわせた82.0%の人が、「行き来できる所にいる」と回答している。

図表4-12 困ったときに頼れる人の有無

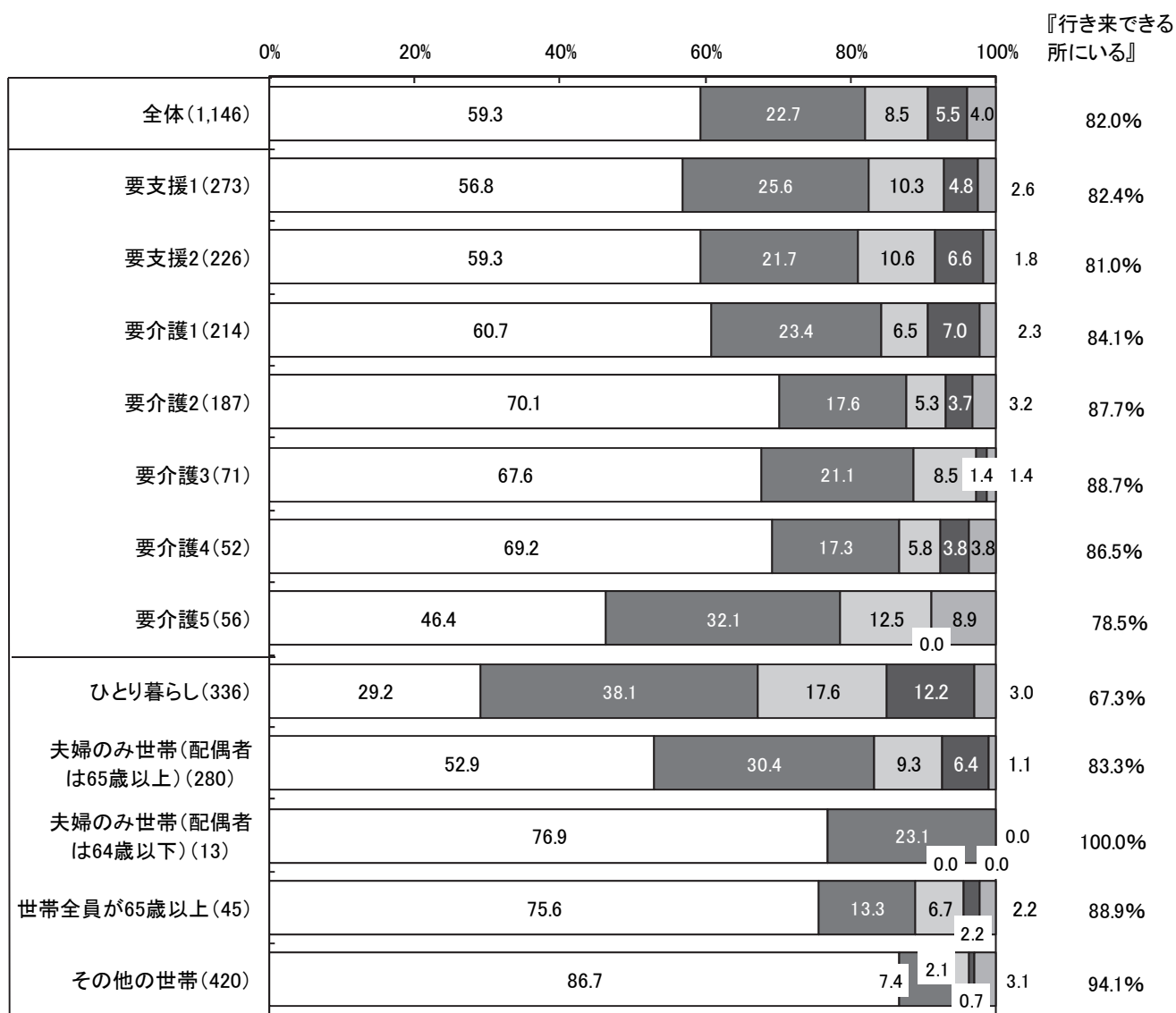


※ 『行き来できる所にいる』 = 「同居している・近所に住んでいる」 + 「同居・近所ではないが、行き来できる所にいる」

要介護度別にみると、困ったときに頼れる人が「同居している・近所に住んでいる」と回答した人は、要介護2の人が70.1%ともっとも高く、要介護5の人が46.4%ともっとも低い割合となっている。また、「いない」と回答した人は要介護1の人が7.0%ともっとも高く、要介護5の人では0%となっている。

家族構成別にみると、ひとり暮らしの人は“行き来できる所にいる”と回答した人が67.3%であり、「いない」が12.2%と他に比べて高い割合となっている。

図表4-13 困ったときに頼れる人の有無



()内は回答者数
 □同居している・近所に住んでいる
 ■同居・近所ではないが、行き来できる所にいる
 □いるが、行き来できる所には住んでいない
 ■いない
 □無回答

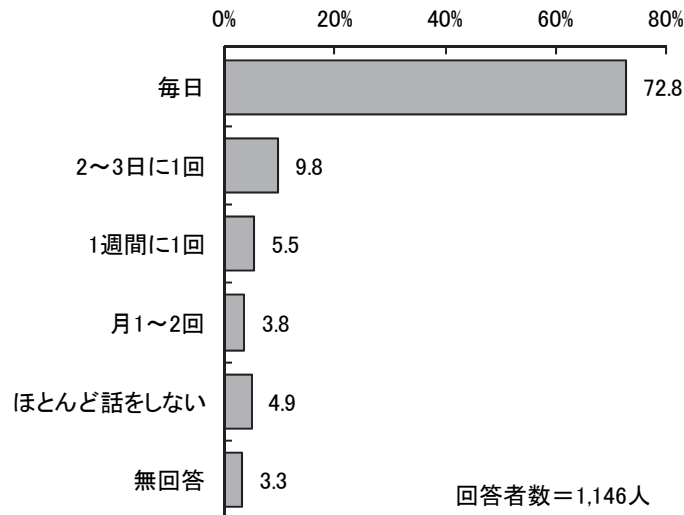
※『行き来できる所にいる』 = 「同居している・近所に住んでいる」 + 「同居・近所ではないが、行き来できる所にいる」

7 会話の頻度

問7 あなたは、ふだん、どのくらいご家族(同居を含む)・ご親族や知人等と会話をしていますか(電話やメールを含む)。(1つに○)

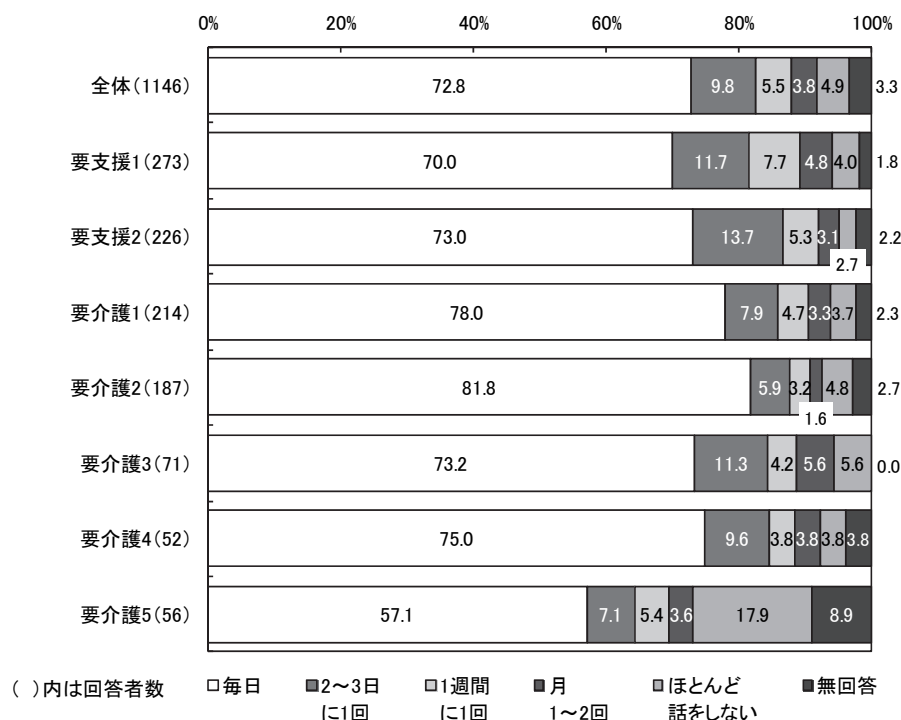
家族や親族・知人等との会話の頻度は、「毎日」と回答した人が72.8%を占めている。一方、「ほとんど話をしない」と回答した人は4.9%となっている。

図表4-14 会話の頻度



要介護度別にみると、要支援1から要介護4の人は「毎日」と回答した人が7~8割を占めているが、要介護5の人では57.1%であり、「ほとんど話をしない」と回答した人が17.9%と他と比べて高い割合となっている。

図表4-15 会話の頻度

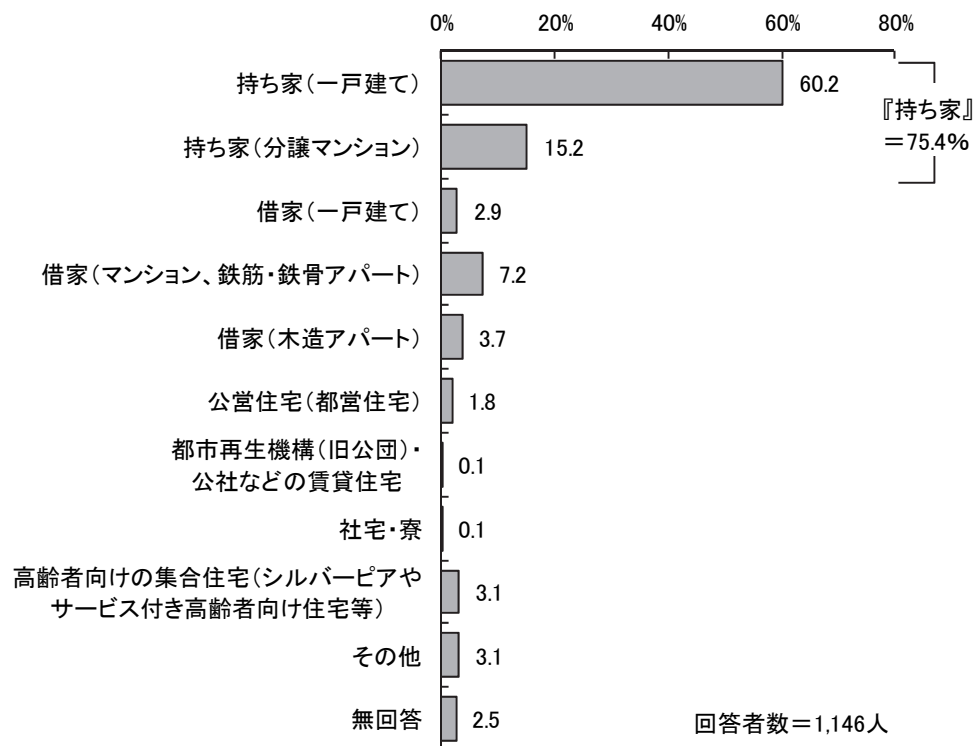


8 住宅形態

問 8 お住まいの形態は次のうち、どれにあてはまりますか。(1つに○)

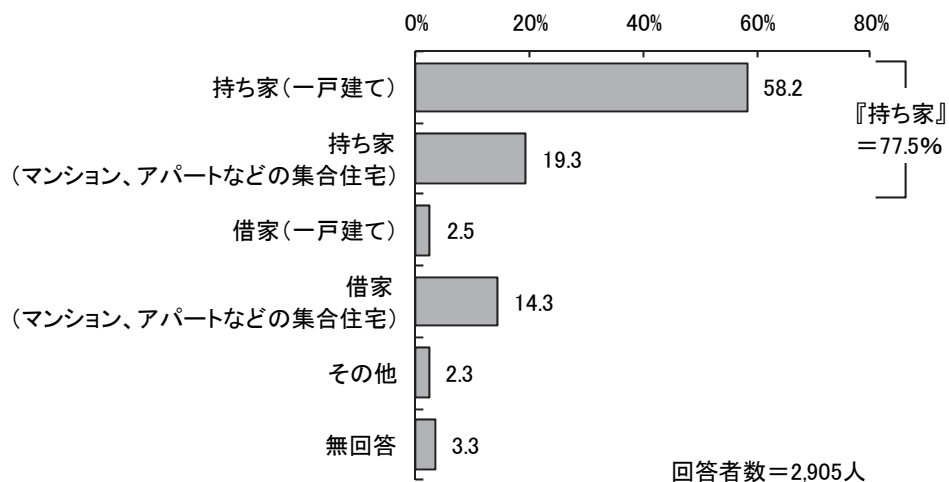
住宅形態は、「持ち家（一戸建て）」60.2%、「持ち家（分譲マンション）」15.2%と、持ち家居住者が75.4%を占めており、前回調査とほぼ同様の結果となっている。また、「借家（マンション、鉄筋・鉄骨アパート）」7.2%、「借家（木造アパート）」3.7%、「高齢者向けの集合住宅（シルバーピアやサービス付き高齢者向け住宅等）」3.1%となっている。

図表4-16 住宅形態



※ 『持ち家』 = 「持ち家（一戸建て）」 + 「持ち家（分譲マンション）」

<前回調査>



※ 『持ち家』 = 「持ち家（一戸建て）」 + 「持ち家（マンション、アパートなどの集合住宅）」

家族構成別にみると、ひとり暮らしの人は「持ち家（一戸建て）」44.6%、「持ち家（分譲マンション）」19.0%と他に比べて持ち家居住者の割合が低く、「借家（マンション、鉄筋・鉄骨アパート）」、「借家（木造アパート）」の割合が高くなっている。また、夫婦のみ世帯（配偶者は65歳以上）の人の60.7%、その他の世帯の人の71.4%は「持ち家（一戸建て）」となっている。

図表4-17 住宅形態

		回答者数(人)	持ち家(一戸建て)	持ち家(分譲マンション)	借家(一戸建て)	借家(マンション、鉄筋・鉄骨アパート)	借家(木造アパート)	公営住宅(都営住宅)	都市再生機構(旧公団)・公社などの賃貸住宅	社宅・寮	高齢者向けの集合住宅(シルバーピアやサービス付き高齢者向け住宅等)	その他	無回答	『持ち家』
全体		1,146	60.2	15.2	2.9	7.2	3.7	1.8	0.1	0.1	3.1	3.1	2.5	75.4
家族構成別	ひとり暮らし	336	44.6	19.0	4.2	11.3	8.0	2.4	0.0	0.0	5.7	3.3	1.5	63.6
	夫婦のみ世帯 (配偶者は65歳以上)	280	60.7	19.3	2.9	6.1	3.6	2.5	0.4	0.0	2.5	1.1	1.1	80.0
	夫婦のみ世帯 (配偶者は64歳以下)	13	53.8	23.1	0.0	0.0	15.4	7.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	76.9
	世帯全員が65歳以上	45	75.6	8.9	4.4	6.7	0.0	0.0	0.0	0.0	2.2	2.2	0.0	84.5
	その他の世帯	420	71.4	11.0	1.9	5.5	0.5	1.2	0.0	0.2	2.1	4.8	1.4	82.4

※ 『持ち家』 = 「持ち家（一戸建て）」 + 「持ち家（分譲マンション）」

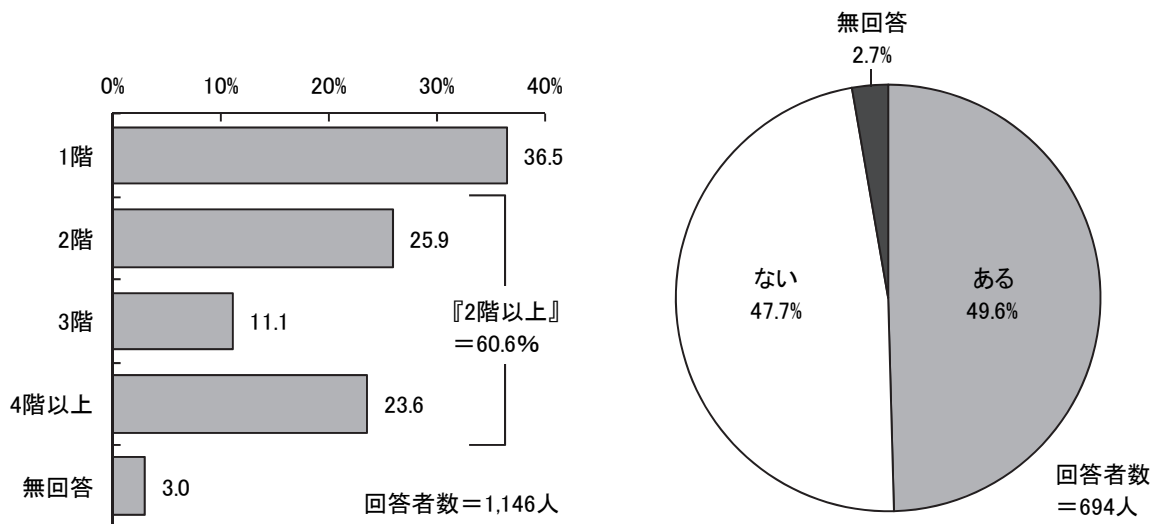
9 主に過ごしている部屋の階数とエレベーターの有無

問9 ふだん、1日の中で主に過ごしている部屋は何階ですか。(1つに○)
 問9-1 問9で「2階」「3階」「4階以上」に○をした方におうかがいします。お住まいにエレベーターはありますか。(1つに○)

主に過ごしている部屋の階数は、「1階」36.5%に次いで、「2階」25.9%、「4階以上」23.6%であり、「2階以上」で過ごしている人が60.6%を占めている。

主に2階以上で過ごしている人のエレベーターの有無は、「ある」が49.6%と約半数となっている。

図表4-18 主に過ごしている部屋の階数／エレベーターの有無



主に過ごしている部屋の階数別にみると、エレベーターがある人の割合は、2階の人では16.2%、3階の人では41.7%、4階以上の人では90.0%となっている。

図表4-19 エレベーターの有無

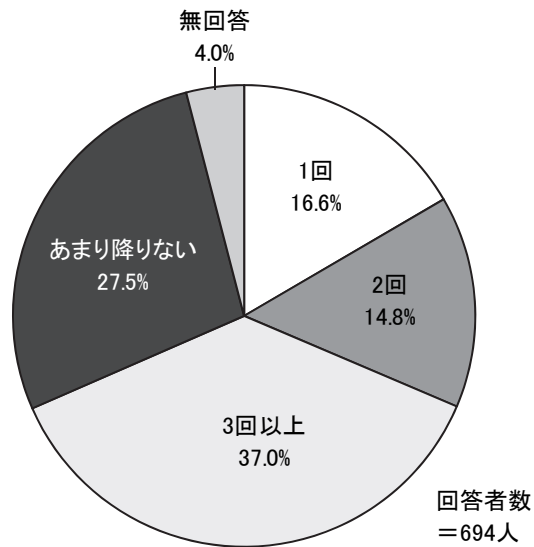
		回答者数(人)	ある	ない	無回答
全体		694	49.6	47.7	2.7
部屋の階数別	2階	297	16.2	81.8	2.0
	3階	127	41.7	53.5	4.7
	4階以上	270	90.0	7.4	2.6

10 1階に降りる回数

問 9-2 1日に何回、外出や食事・入浴などのために1階に降りることがありますか。
(1つに○)

1階に降りる回数は、「3回以上」37.0%に次いで、「あまり降りない」27.5%となっている。

図表4-20 1階に降りる回数

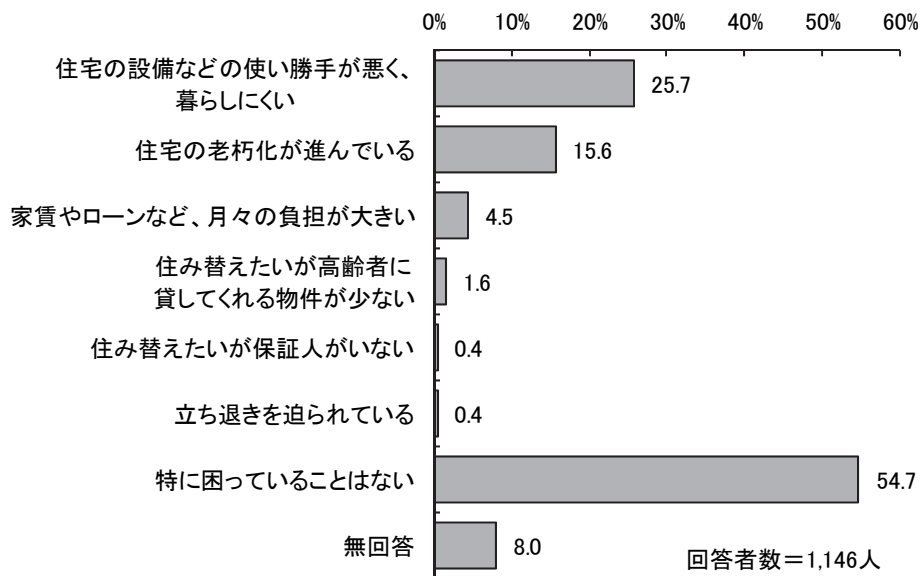


1.1 住まいでの困りごと

問 10 現在、お住まいの住宅でお困りのことはありますか。(あてはまるものすべてに○)

住まいでの困りごとは、「住宅の設備などの使い勝手が悪く、暮らしにくい」が 25.7%、次いで「住宅の老朽化が進んでいる」が 15.6%であるが、「特に困っていることはない」と回答した人も 54.7%と半数以上を占めている。

図表4-21 住まいでの困りごと(複数回答)



住宅形態別にみると、持ち家（分譲マンション）の人では「特にない」が71.3%を占めている。一方、借家（一戸建て）及び借家（木造アパート）の人では、「住宅の設備などの使い勝手が悪く、暮らしにくい」が4割、「住宅の老朽化が進んでいる」が3割を超えて、他に比べて高い割合となっている。

図表4-22 住まいでの困りごと

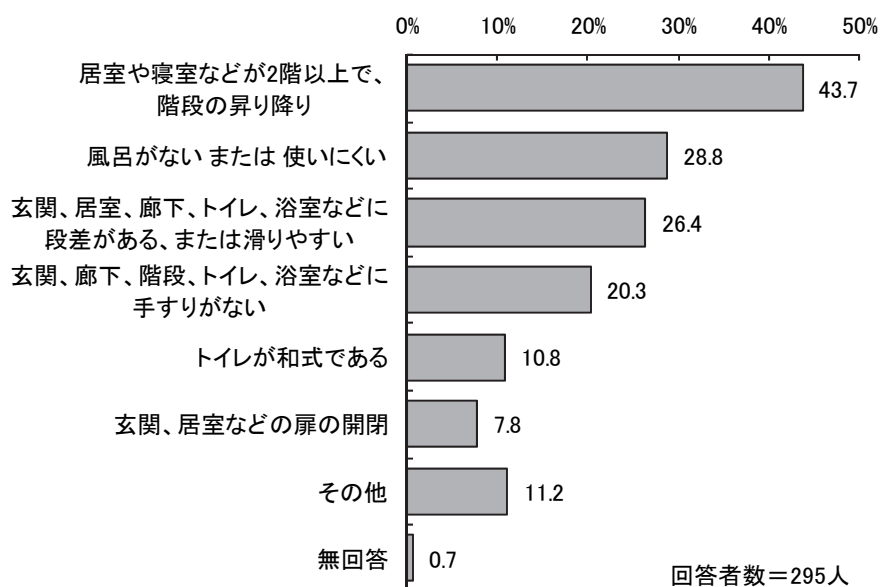
		回答者数(人)	住宅の設備などの使い勝手が悪く、暮らしにくい	住宅の老朽化が進んでいる	家賃やローンなど、月々の負担が大きい	住み替えたいが高齢者に貸してくれる物件が少ない	住み替えたいが保証人がいない	立ち退きを迫られている	特に困っていることはない	無回答
全体		1,146	25.7	15.6	4.5	1.6	0.4	0.4	54.7	8.0
住宅形態別	持ち家(一戸建て)	690	26.4	19.3	1.9	0.3	0.0	0.3	55.2	6.8
	持ち家(分譲マンション)	174	16.1	5.2	4.6	0.0	0.0	0.0	71.3	5.7
	借家(一戸建て)	33	42.4	39.4	24.2	3.0	0.0	3.0	27.3	6.1
	借家(マンション、鉄筋・鉄骨アパート)	83	34.9	7.2	15.7	12.0	3.6	1.2	41.0	3.6
	借家(木造アパート)	42	47.6	31.0	11.9	4.8	2.4	0.0	33.3	2.4
	公営住宅(都営住宅)	21	23.8	9.5	0.0	0.0	0.0	0.0	61.9	9.5
	都市再生機構(旧公団)・公社などの賃貸住宅	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	社宅・寮	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	高齢者向けの集合住宅	36	13.9	0.0	8.3	0.0	0.0	0.0	69.4	11.1
	その他	36	13.9	2.8	2.8	2.8	2.8	2.8	66.7	8.3

1 2 住宅設備での困りごと

問 10-1 問 10 で「住宅の設備などの使い勝手が悪く、暮らしにくい」に○をした方におうかがいします。具体的にどのような設備などに困っていますか。
(あてはまるものすべてに○)

住宅設備での困りごとは、「居室や寝室などが 2 階以上で、階段の昇り降り」43.7%、「風呂がない または 使いにくい」28.8%、「玄関、居室、廊下、トイレ、浴室などに段差がある、または滑りやすい」26.4%、「玄関、廊下、階段、トイレ、浴室などに手すりがない」20.3%の順となっている。

図表4-23 住宅設備での困りごと(複数回答)

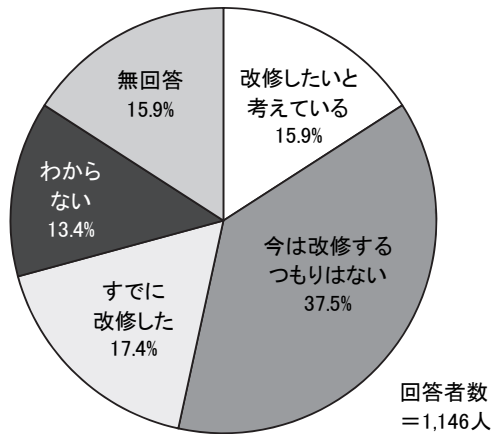


1 3 住宅改修の意向

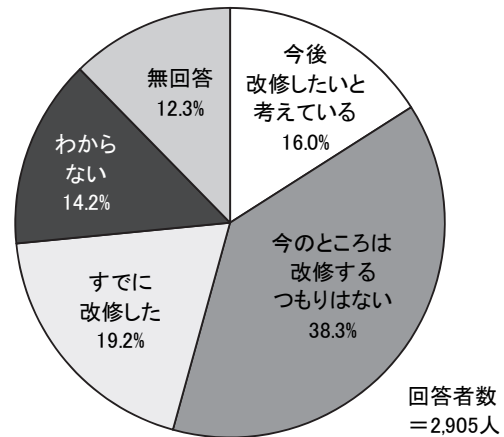
問 11 お住まいの住宅を改修したいと考えていますか。(1つに○)

住宅改修については、「すでに改修した」と回答した人は 17.4%であり、「改修したいと考えている」人は 15.9%となっており、前回調査とほぼ同様の結果となっている。

図表4-24 住宅改修の意向



<前回調査>



住宅設備の困りごと別にみると、玄関、廊下、階段、トイレ、浴室などに手すりがない人において「改修したいと考えている」と回答した人が 48.3%と、他に比べて改修意向が高くなっている。

図表4-25 住宅改修の意向

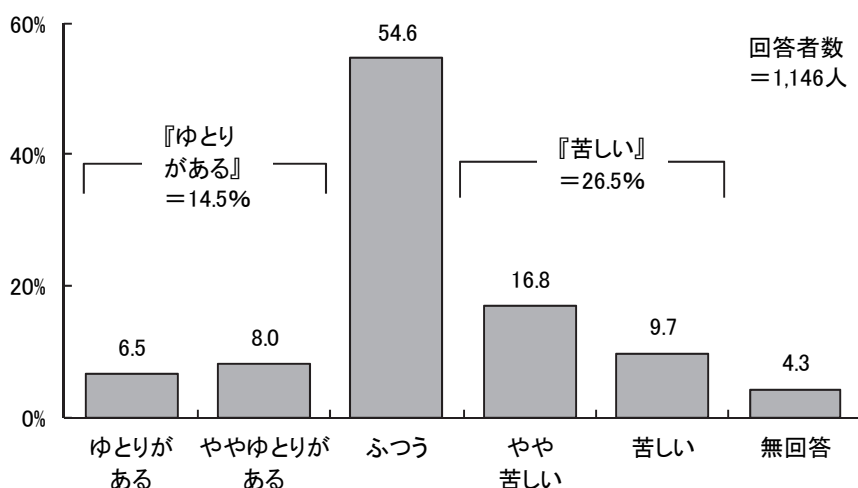
		回答者数(人)	改修したいと考えている	今は改修するつもりはない	すでに改修した	わからない	無回答
全体		1,146	15.9	37.5	17.4	13.4	15.9
住宅設備の困りごと別	居室や寝室などが2階以上で、階段の昇り降り	129	31.0	30.2	13.2	16.3	9.3
	玄関、廊下、階段、トイレ、浴室などに手すりがない	60	48.3	21.7	3.3	21.7	5.0
	玄関、居室、廊下、トイレ、浴室などに段差がある、または滑りやすい	78	29.5	41.0	3.8	16.7	9.0
	玄関、居室などの扉の開閉	23	34.8	21.7	13.0	21.7	8.7
	トイレが和式である	32	28.1	18.8	3.1	34.4	15.6
	風呂がない または 使いにくい	85	35.3	25.9	1.2	18.8	18.8
	その他	33	33.3	27.3	3.0	24.2	12.1

14 暮らし向き

問 12 経済的にみて、現在の暮らしの状況をどう感じていますか。(1つに○)

暮らし向きは、「ふつう」が54.6%と過半数を占めている。「ゆとりがある」6.5%、「ややゆとりがある」8.0%をあわせた“ゆとりがある”と回答した人が14.5%、「やや苦しい」16.8%、「苦しい」9.7%をあわせた“苦しい”と回答した人は26.5%となっている。

図表4-26 暮らし向き



昨年の年間収入別にみると、“苦しい”と回答した人は、80万円未満では44.0%、80万円～200万円未満では39.1%となっている。一方、“ゆとりがある”と回答した人は、750万円～1,000万円未満では38.7%、1,000万円以上では62.5%となっている。

図表4-27 暮らし向き

		回答者数(人)	ゆとりがある	ややゆとりがある	ふつう	やや苦しい	苦しい	無回答	『ゆとりがある』	『苦しい』
全体		1,146	6.5	8.0	54.6	16.8	9.7	4.3	14.5	26.5
昨年の年間収入別	80万円未満	141	1.4	1.4	52.5	21.3	22.7	0.7	2.8	44.0
	80万円～200万円未満	304	3.0	3.6	51.3	26.6	12.5	3.0	6.6	39.1
	200万円～300万円未満	192	5.2	8.9	57.8	20.8	7.3	0.0	14.1	28.1
	300万円～500万円未満	166	9.6	12.0	61.4	10.2	4.8	1.8	21.6	15.0
	500万円～750万円未満	74	10.8	17.6	54.1	12.2	5.4	0.0	28.4	17.6
	750万円～1,000万円未満	49	16.3	22.4	53.1	6.1	2.0	0.0	38.7	8.1
	1,000万円以上	40	42.5	20.0	35.0	0.0	0.0	2.5	62.5	0.0

※ 『ゆとりがある』 = 「ゆとりがある」 + 「ややゆとりがある」

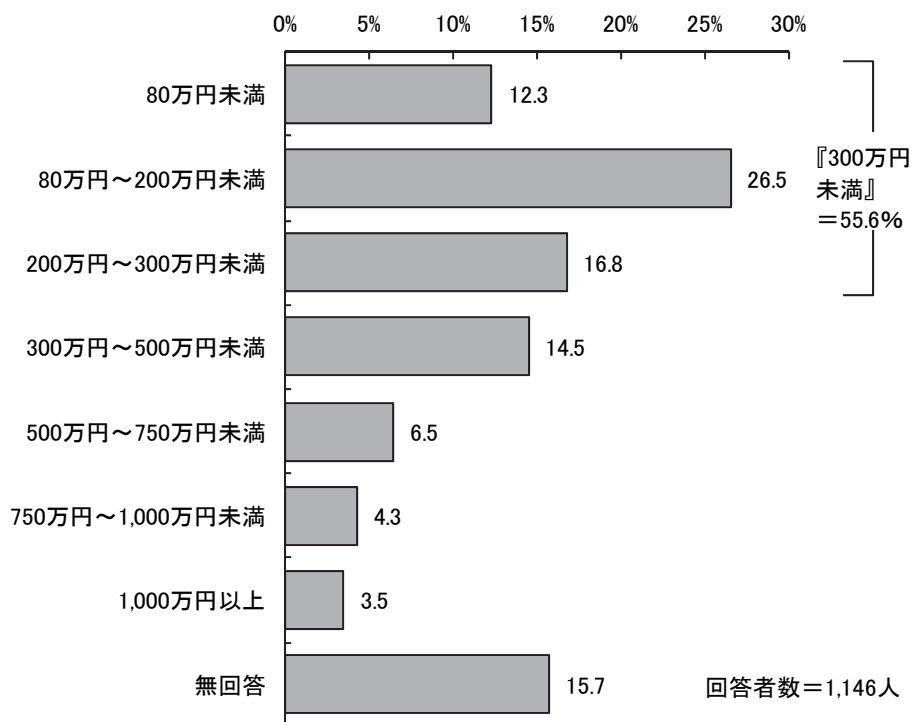
※ 『苦しい』 = 「やや苦しい」 + 「苦しい」

15 世帯の年間収入

問 13 あなたの世帯(ご家族を含む)の昨年の年間収入総額(税込)はどのくらいですか。
(1つに○)

世帯の年間収入は、「80万円～200万円未満」26.5%、「200万円～300万円未満」16.8%、「300万円～500万円未満」14.5%の順であり、「300万円未満」の人が55.6%と過半数を占めている。

図表4-28 世帯の年間収入

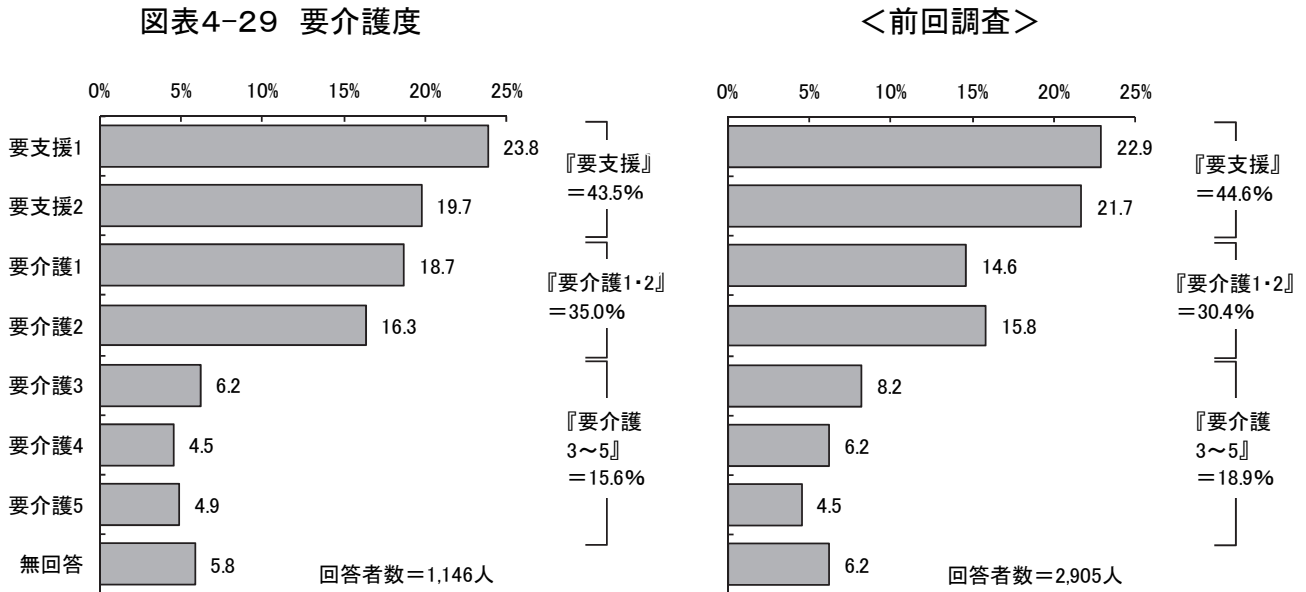


※ 『300万円未満』 = 「80万円未満」 + 「80万円～200万円未満」
+ 「200万円～300万円未満」

16 要介護度

問 14 現在の要介護(要支援)度は、次のうちどれですか。(1つに○)

要介護度は、「要支援 1」23.8%、「要支援 2」19.7%をあわせた“要支援”が43.5%、「要介護 1」18.7%、「要介護 2」16.3%をあわせた“要介護 1・2”が35.0%、「要介護 3」6.2%、「要介護 4」4.5%、「要介護 5」4.9%をあわせた“要介護 3～5”が15.6%となっている。前回調査の回答者に比べると“要介護 1・2”の割合が高く、“要介護 3～5”の割合が低くなっている。



居住地域別にみると、他に比べて要支援の割合が高いのは、清川地区 (47.8%) と三ノ輪地区 (45.9%) であり、要介護 3～5 の割合が高いのは、三ノ輪地区 (22.1%) と谷中地区 (18.6%) となっている。

図表4-30 要介護度

		回答者数(人)	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	無回答
全体		1,146	23.8	19.7	18.7	16.3	6.2	4.5	4.9	5.8
居住地域別	谷中地区	86	24.4	19.8	15.1	14.0	11.6	1.2	5.8	8.1
	台東地区	172	23.3	20.9	15.7	18.0	6.4	4.1	5.8	5.8
	蔵前地区	185	20.5	22.2	22.2	17.8	4.9	3.8	3.2	5.4
	浅草地区	189	25.9	17.5	22.2	13.8	7.9	2.6	6.3	3.7
	三ノ輪地区	144	28.5	17.4	16.0	12.5	6.9	8.3	6.9	3.5
	松が谷地区	192	20.8	19.3	23.4	17.2	5.7	4.2	4.7	4.7
	清川地区	136	26.5	21.3	11.8	18.4	2.9	7.4	2.9	8.8

II 健康や医療について

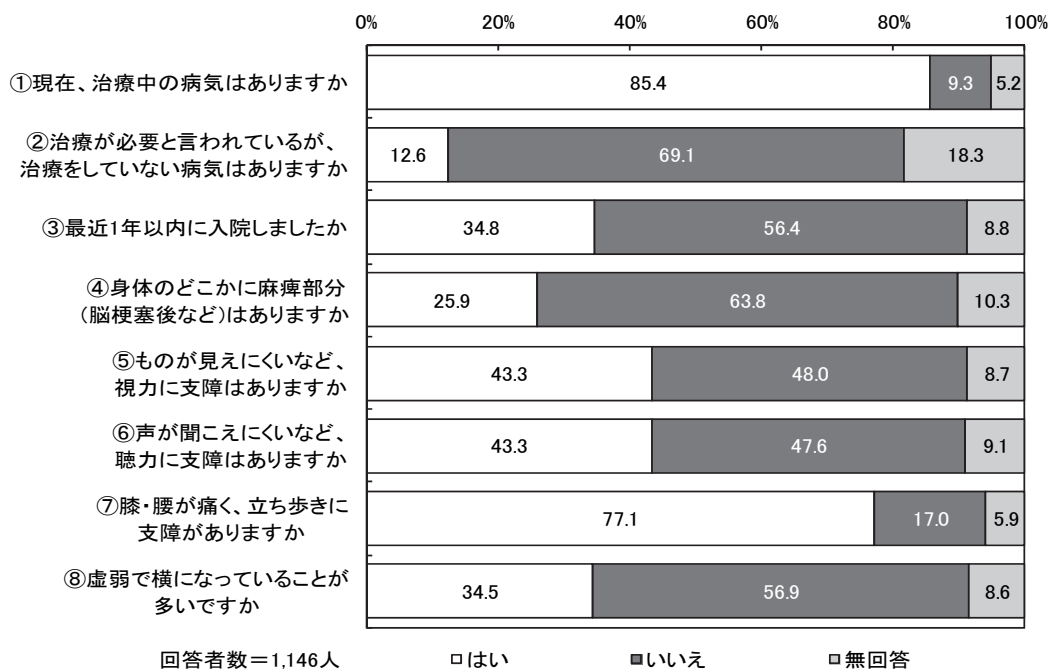
1 健康状態

問 15 ふだんの健康状態について、①～⑧のそれぞれ1つに○をしてください。

①治療中の病気がある人は 85.4%、②治療が必要だが治療をしていない病気がある人は 12.6%、③1年以内に入院したことがある人は 34.8%となっている。

また、④身体のどこかに麻痺部分がある人は 25.9%、⑤視力、⑥聴力に支障がある人はそれぞれ 43.3%、⑦膝・腰痛で立ち歩きに支障がある人は 77.1%、⑧虚弱で横になっていることが多い人は 34.5%となっている。

図表4-31 健康状態



年齢別にみると、①治療中の病気がある、及び④身体のどこかに麻痺部分があると回答した人は年齢層が高くなるほど割合が低くなっている。一方、⑦膝・腰痛で立ち歩きに支障があると回答した人は、年齢層が高くなるほど割合も高くなっている。

要介護度別にみると、①治療中の病気があると回答した人は要介護4、⑦膝・腰痛で立ち歩きに支障があると回答した人は要介護3の人においてそれぞれもっとも高い割合となっている。また、③1年以内に入院した、④身体のどこかに麻痺部分がある、⑤視力に支障がある、⑥聴力に支障がある、及び⑧虚弱で横になっていることが多いと回答した人は、いずれも要介護5の人がもっとも高い割合となっている。

図表4-32 健康状態

		回答者数(人)	①治療中の病気はあるか		②治療が必要だがしていない病気はあるか		③1年以内に入院したか		④身体のどこかに麻痺部分はあるか	
			はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
全体		1,146	85.4	9.3	12.6	69.1	34.8	56.4	25.9	63.8
年齢別	65～69歳	64	93.8	6.3	20.3	67.2	53.1	45.3	51.6	45.3
	70～74歳	85	91.8	4.7	10.6	76.5	31.8	60.0	42.4	52.9
	75～79歳	212	90.6	4.2	19.3	59.9	39.2	51.4	34.9	54.7
	80～84歳	284	86.6	8.5	12.7	64.8	33.5	54.2	21.5	64.8
	85～89歳	276	84.1	11.6	9.1	74.3	29.7	64.5	18.8	73.6
	90歳以上	198	78.3	15.7	8.6	79.3	35.4	58.6	18.2	72.2
要介護度別	要支援1	273	89.0	7.7	14.7	67.0	28.2	61.5	22.3	68.5
	要支援2	226	87.6	7.5	15.0	66.4	28.3	63.7	24.8	65.0
	要介護1	214	87.9	8.9	9.8	73.8	35.0	56.5	16.4	73.8
	要介護2	187	85.6	11.8	12.8	73.3	37.4	59.4	34.8	60.4
	要介護3	71	87.3	11.3	12.7	74.6	49.3	47.9	29.6	64.8
	要介護4	52	90.4	9.6	11.5	76.9	53.8	44.2	40.4	55.8
	要介護5	56	76.8	16.1	5.4	83.9	60.7	37.5	48.2	42.9

		回答者数(人)	⑤視力に支障はあるか		⑥聴力に支障はあるか		⑦膝・腰痛で立ち歩きに支障があるか		⑧虚弱で横になっていることが多いか	
			はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
全体		1,146	43.3	48.0	43.3	47.6	77.1	17.0	34.5	56.9
年齢別	65～69歳	64	48.4	46.9	28.1	65.6	70.3	25.0	32.8	62.5
	70～74歳	85	45.9	49.4	37.6	57.6	72.9	22.4	37.6	56.5
	75～79歳	212	43.9	45.8	32.1	58.0	74.1	19.8	35.4	54.2
	80～84歳	284	43.3	45.4	38.7	50.0	78.2	16.2	29.9	60.6
	85～89歳	276	41.3	52.5	50.0	43.5	79.7	16.3	33.3	61.6
	90歳以上	198	43.4	50.0	62.6	30.8	82.3	12.1	42.4	50.0
要介護度別	要支援1	273	44.0	47.6	40.3	52.0	75.5	20.5	20.5	71.1
	要支援2	226	46.0	46.0	41.6	50.4	79.2	16.4	28.3	65.0
	要介護1	214	42.5	50.5	46.7	45.3	72.4	23.4	36.4	56.5
	要介護2	187	46.5	50.3	47.1	49.2	79.7	17.1	42.2	51.9
	要介護3	71	40.8	54.9	49.3	46.5	94.4	4.2	50.7	45.1
	要介護4	52	40.4	53.8	50.0	44.2	90.4	7.7	55.8	40.4
	要介護5	56	48.2	44.6	50.0	42.9	85.7	5.4	73.2	23.2

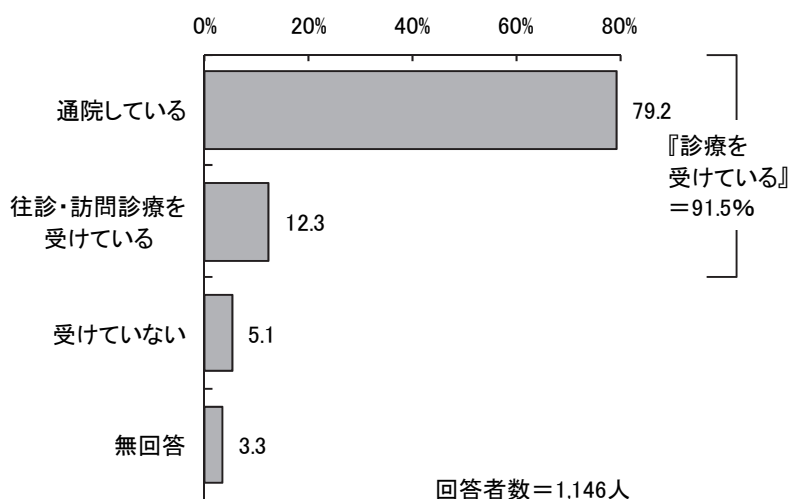
※「無回答」は掲載を省略している

2 通院・往診等の状況

問 16 現在、通院や往診・訪問診療による診療を受けていますか。(1つに○)

通院状況・往診等の状況については、「通院している」と回答した人が79.2%、「往診・訪問診療を受けている」人は12.3%であり、これらをあわせた91.5%が“診療を受けている”と回答している。

図表4-33 通院・往診等の状況



図表4-34 通院・往診等の状況

	回答者数(人)	通院している	往診・訪問診療を受けている	受けていない	無回答	『診療を受けている』	
全体	1,146	79.2	12.3	5.1	3.3	91.5	
要介護度別	要支援1	273	91.9	1.1	5.9	1.1	93.0
	要支援2	226	92.5	4.0	2.2	1.3	96.5
	要介護1	214	83.6	10.7	3.3	2.3	94.3
	要介護2	187	74.9	20.9	3.2	1.1	95.8
	要介護3	71	59.2	28.2	7.0	5.6	87.4
	要介護4	52	48.1	38.5	9.6	3.8	86.6
	要介護5	56	30.4	37.5	16.1	16.1	67.9

要介護度別にみると、「通院している」と回答した人は、介護度が高くなるほど割合が低くなっている。また、“診療を受けている”と回答した人の割合は、要介護5の人が67.9%ともっとも低くなっている。

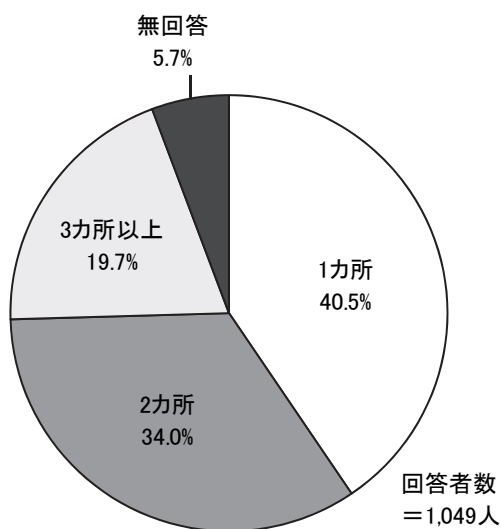
※『診療を受けている』=「通院している」+「往診・訪問診療を受けている」

3 通院・往診等を受けている病院・診療所数

問 16-1 問 16で「通院している」「往診・訪問診療を受けている」に○をした方におうかがいします。通院や往診・訪問診療を受けている病院は、何カ所ありますか。(1つに○)

通院・往診等を受けている病院・診療所数は、「1カ所」が40.5%ともっとも高く、次いで「2カ所」34.0%、「3カ所以上」19.7%となっている。

図表4-35 通院・往診等を受けている病院・診療所数

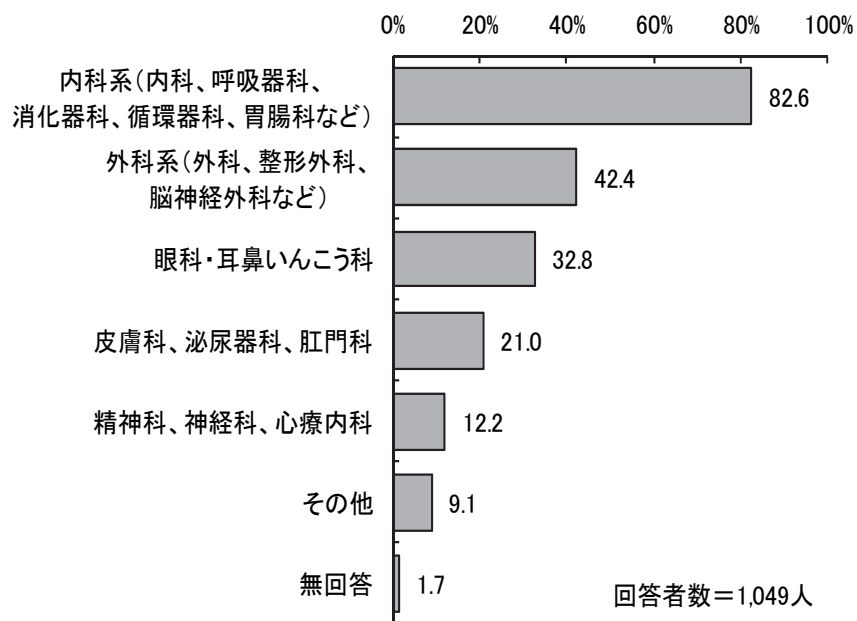


4 受診科

問 16-2 問 16で「通院している」「往診・訪問診療を受けている」に○をした方におうかがい
します。通院や往診・訪問診療を受けているのは、何科ですか。
(あてはまるものすべてに○)

受診科は、「内科系（内科、呼吸器科、消化器科、循環器科、胃腸科など）」82.6%、「外科系（外科、整形外科、脳神経外科など）」42.4%、「眼科・耳鼻いんこう科」32.8%などとなっている。

図表4-36 受診科(複数回答)

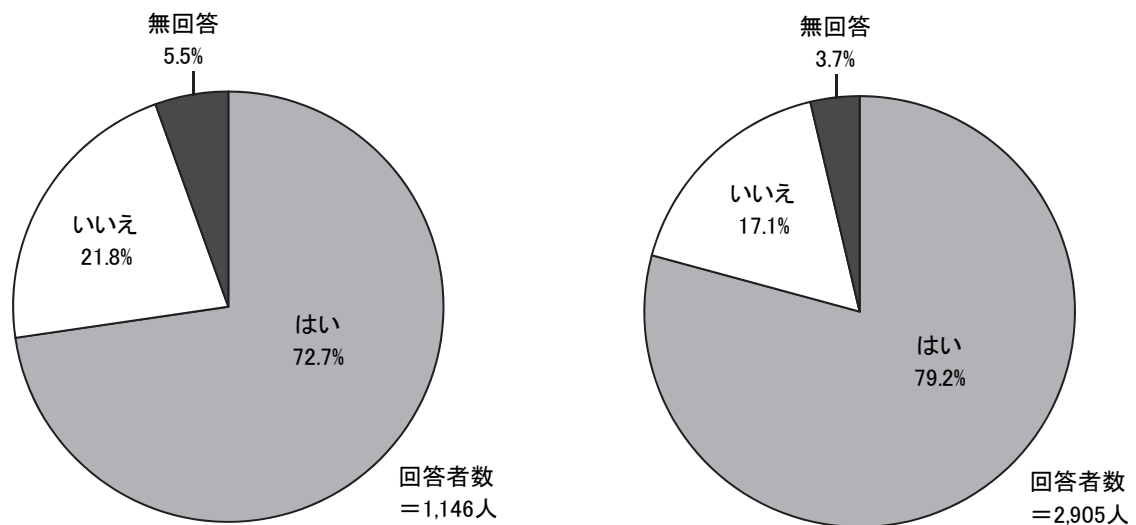


5 かかりつけ医の有無

問 17 ふだんから治療や指導を受けたり、健康について相談できる「かかりつけ医」が、自宅近くにいますか。(1つに○)

かかりつけ医がいる（「はい」と回答）人の割合は 72.7%であり、前回調査よりも 6.5ポイント低くなっている。

図表4-37 かかりつけ医の有無



居住地域別にみると、かかりつけ医がいる（「はい」と回答）人の割合は、谷中地区が 79.1%ともっとも高く、台東地区が 67.4%ともっとも低くなっている。

図表4-38 かかりつけ医の有無

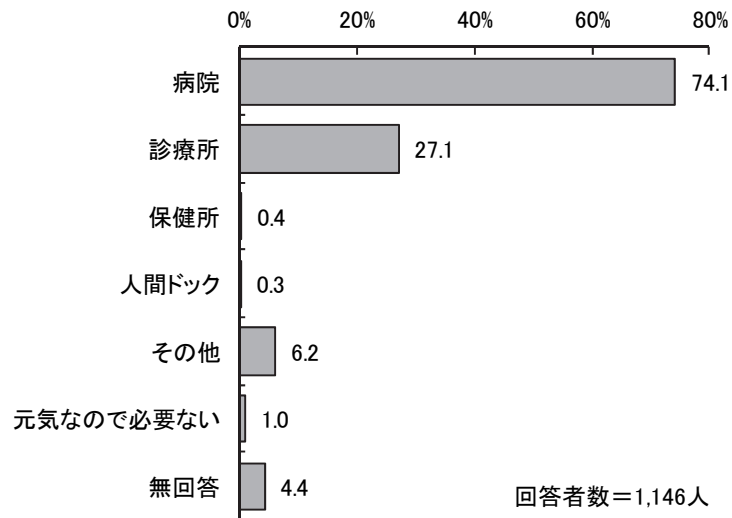
		回答者数(人)	はい	いいえ	無回答
全体		1,146	72.7	21.8	5.5
居住地域別	谷中地区	86	79.1	18.6	2.3
	台東地区	172	67.4	27.9	4.7
	蔵前地区	185	71.4	22.2	6.5
	浅草地区	189	70.9	23.3	5.8
	三ノ輪地区	144	76.4	18.8	4.9
	松が谷地区	192	76.6	19.8	3.6
	清川地区	136	73.5	20.6	5.9

6 病気や健康に関する相談場所

問 18 病気の治療や健康については、どこに相談しますか。(あてはまるものすべてに○)

病気や健康に関する相談場所は、「病院」74.1%、「診療所」27.1%などとなっている。

図表4-39 病気や健康に関する相談場所(複数回答)

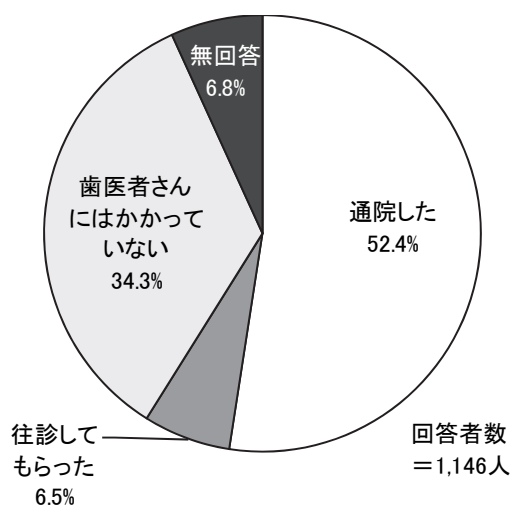


7 歯医者を受診状況

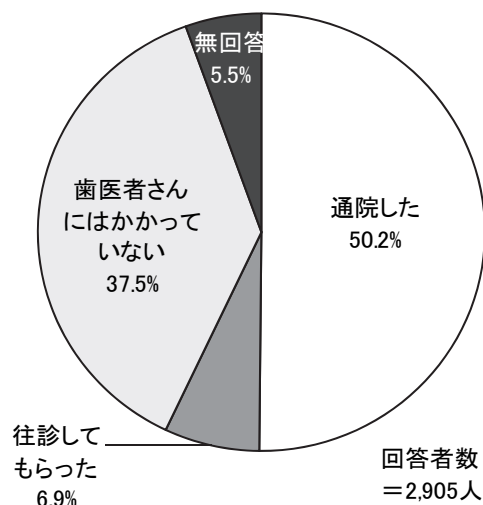
問 19 過去1年間に、歯医者さんにかかったことはありますか。(1つに○)

歯医者を受診状況は、「通院した」52.4%、「往診してもらった」6.5%であり、これらをあわせた“歯科医にかかっている”人の割合は58.9%であり、前回調査とほぼ同様の結果となっている

図表4-40 歯医者を受診状況



<前回調査>



図表4-41 歯医者を受診状況

	回答者数(人)	通院した	往診してもらった	歯医者さんにはかかっていない	無回答	『歯科医にかかっている』	
全体	1,146	52.4	6.5	34.3	6.8	58.9	
要介護度別	要支援1	273	64.5	0.7	28.2	6.6	65.2
	要支援2	226	62.8	1.8	31.9	3.5	64.6
	要介護1	214	49.1	6.1	38.3	6.5	55.2
	要介護2	187	51.9	8.0	34.8	5.3	59.9
	要介護3	71	35.2	16.9	43.7	4.2	52.1
	要介護4	52	30.8	15.4	48.1	5.8	46.2
	要介護5	56	19.6	32.1	41.1	7.1	51.7

要介護度別にみると、「通院した」人の割合は、介護度が高くなるほど低くなり、反対に「往診してもらった」人の割合が高くなる。“歯科医にかかっている”人の割合は、要支援1の人が65.2%ともっとも高く、要介護4の人が46.2%ともっとも低くなっている。

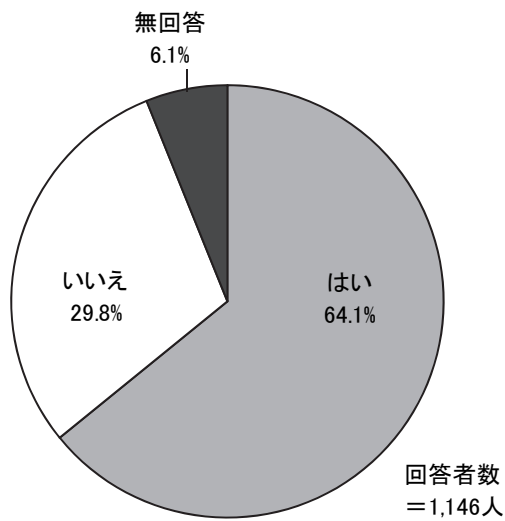
※『歯科医にかかっている』 = 「通院した」 + 「往診してもらった」

8 かかりつけ歯科医の有無

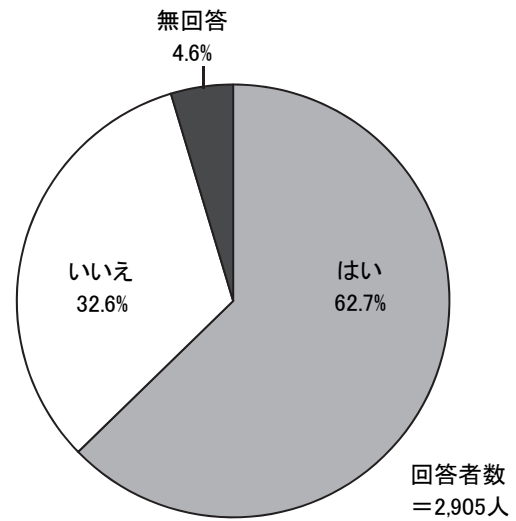
問 20 ふだんから歯の治療や指導を受けたり、歯の健康について相談できる「かかりつけ歯科医」が、自宅近くにいますか。(1つに○)

かかりつけ歯科医がいる（「はい」と回答）人の割合は64.1%であり、前回調査とほぼ同様の結果となっている。

図表4-42 かかりつけ歯科医の有無



<前回調査>



居住地域別にみると、かかりつけ歯科医がいる（「はい」と回答した）人の割合は、谷中地区が73.3%と最も高く、清川地区が60.3%と最も低くなっている。

図表4-43 かかりつけ歯科医の有無

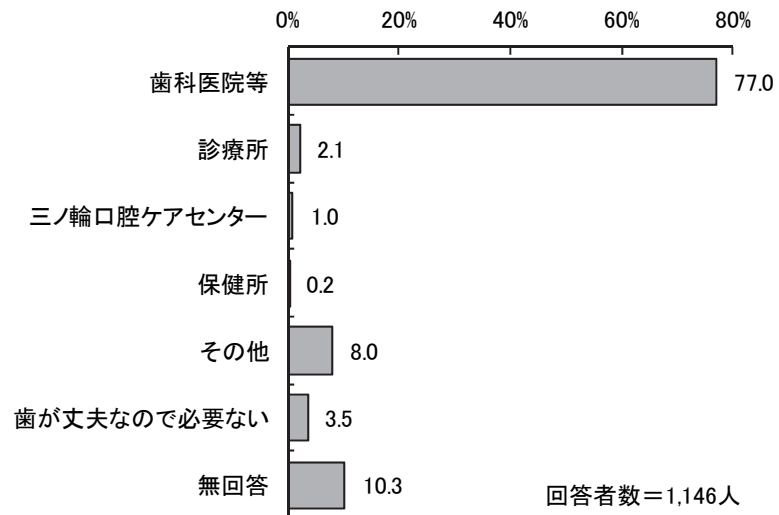
		回答者数(人)	はい	いいえ	無回答
全体		1,146	64.1	29.8	6.1
居住地域別	谷中地区	86	73.3	22.1	4.7
	台東地区	172	66.3	27.9	5.8
	蔵前地区	185	67.0	25.4	7.6
	浅草地区	189	63.5	31.7	4.8
	三ノ輪地区	144	63.9	31.3	4.9
	松が谷地区	192	62.0	32.3	5.7
	清川地区	136	60.3	35.3	4.4

9 歯の健康に関する相談場所

問 21 歯の健康や治療については、どこに相談しますか。(あてはまるものすべてに○)

歯の健康に関する相談場所は、「歯科医院等」が77.0%となっている。

図表4-44 歯の健康に関する相談場所(複数回答)

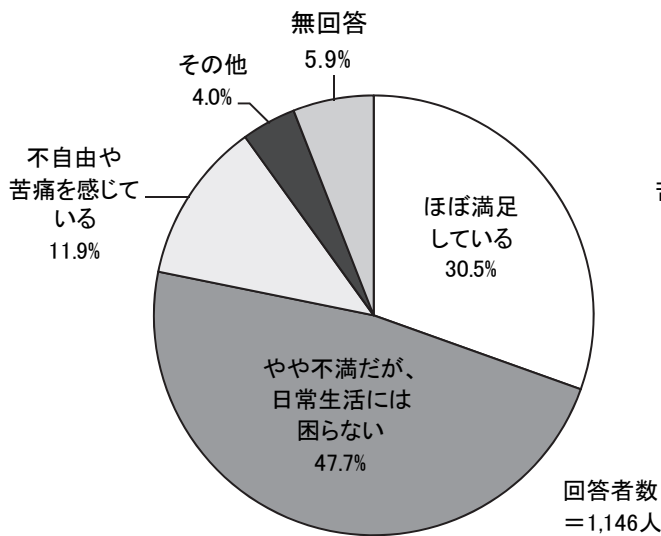


10 口内や歯の状態の満足度

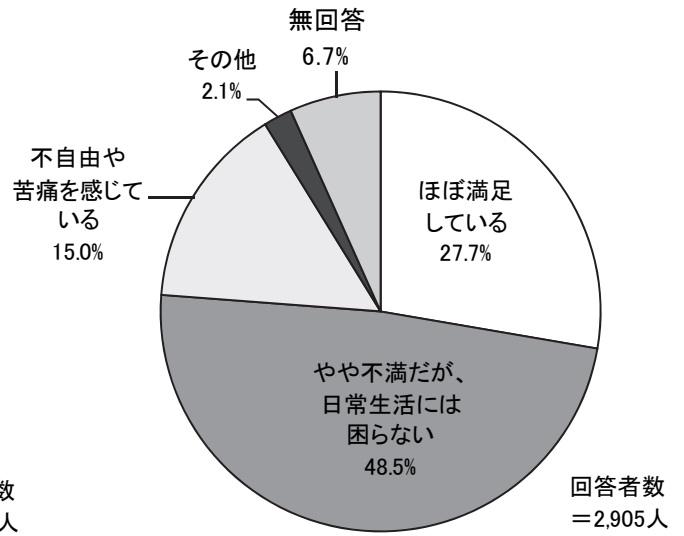
問 22 口の中や歯の状態(入れ歯を入れている状態を含みます)を、どのように感じていますか。(1つに○)

口内や歯の状態は、「ほぼ満足している」と回答した人が 30.5%、「やや不満だが、日常生活には困らない」と回答した人は 47.7%であり、これらをあわせた 78.2%の人が“日常生活には困らない”と回答している。一方、「不自由や苦痛を感じている」と回答した人は 11.9%であり、前回調査よりも 3.1 ポイント低くなっている。

図表4-45 口内や歯の状態の満足度



<前回調査>



図表4-46 口内や歯の状態の満足度

	回答者数(人)	ほぼ満足している	やや不満だが、日常生活には困らない	不自由や苦痛を感じている	その他	無回答	『日常生活には困らない』	
全体	1,146	30.5	47.7	11.9	4.0	5.9	78.2	
要介護度別	要支援 1	273	34.8	46.9	9.9	3.7	4.8	81.7
	要支援 2	226	31.4	51.3	14.2	1.3	1.8	82.7
	要介護 1	214	29.0	51.4	9.8	4.2	5.6	80.4
	要介護 2	187	25.1	52.4	13.9	4.3	4.3	77.5
	要介護 3	71	29.6	46.5	12.7	5.6	5.6	76.1
	要介護 4	52	34.6	42.3	7.7	9.6	5.8	76.9
	要介護 5	56	21.4	41.1	16.1	10.7	10.7	62.5

要介護度別にみると、“日常生活には困らない”と回答した人の割合は、要支援 1・2 及び要介護 1 の人は 8 割を超え、要介護 2~4 の人でも 7 割を占めている。一方、要介護 5 の人では 62.5%であり、「不自由や苦痛を感じている」が 16.1%と、他に比べて高い割合となっている。

※ 『日常生活には困らない』 = 「ほぼ満足している」 + 「やや不満だが、日常生活には困らない」

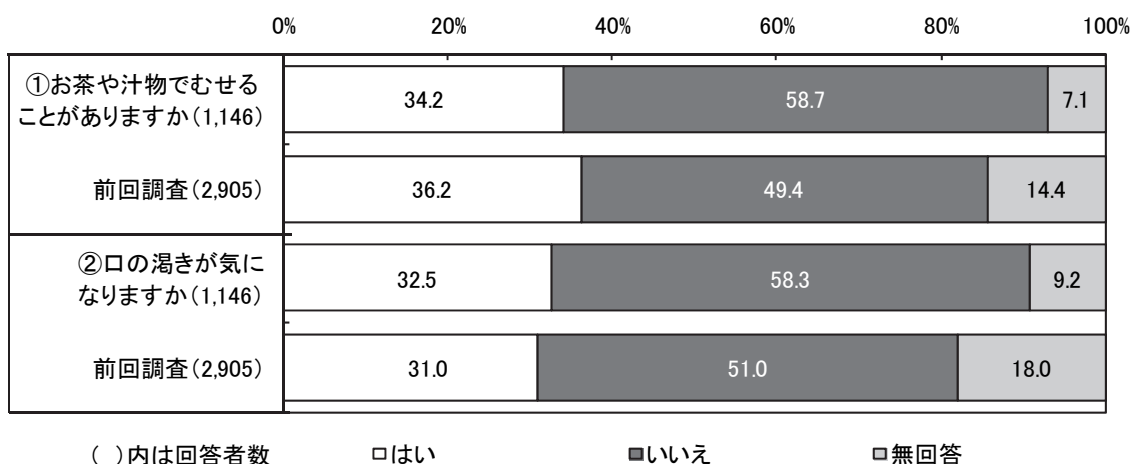
1.1 食事のとき気になること

問 23 食事などのときに、次のことで気になることはありますか。(それぞれ1つに○)

食事などのとき、①お茶や汁物でむせることがある人は 34.2%、②口の渇きが気になる人は 32.5%となっている。

一方、「いいえ」と回答した人は、いずれも前回調査に比べて高い割合となっている。

図表4-47 食事のとき気になること



要介護度別にみると、①お茶や汁物でむせることがある人の割合は、介護度の高い層に高く、要支援1の人では27.5%であるが、要介護5の人では58.9%となっている。

②口の渇きが気になる人の割合は、要介護5の人では39.3%と、他に比べて高い割合となっている。

図表4-48 食事のとき気になること

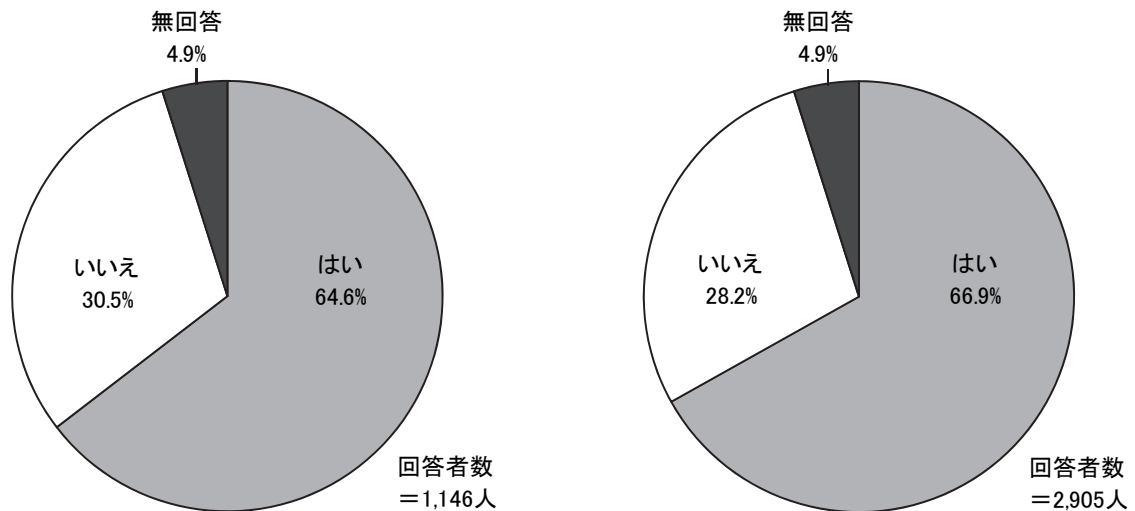
	回答者数(人)	①お茶や汁物で むせたことがあるか			②口の渇きが 気になるか			
		はい	いいえ	無回答	はい	いいえ	無回答	
全体	1,146	34.2	58.7	7.1	32.5	58.3	9.2	
要介護度別	要支援1	273	27.5	67.4	5.1	34.4	58.6	7.0
	要支援2	226	29.6	62.4	8.0	34.1	58.0	8.0
	要介護1	214	30.4	64.0	5.6	34.6	57.0	8.4
	要介護2	187	38.5	56.7	4.8	31.0	64.2	4.8
	要介護3	71	49.3	45.1	5.6	22.5	67.6	9.9
	要介護4	52	46.2	51.9	1.9	26.9	67.3	5.8
	要介護5	56	58.9	23.2	17.9	39.3	37.5	23.2

1 2 かかりつけ薬局の有無

問 24 ふだんから身近な地域で薬の相談ができる「かかりつけ薬局」がありますか。
(1つに○)

かかりつけ薬局がある（「はい」と回答）人の割合は64.6%であり、前回調査とほぼ同様の結果となっている。

図表4-49 かかりつけ薬局の有無



居住地域別にみると、かかりつけ薬局がある（「はい」と回答）人の割合は、三ノ輪地区が76.4%ともっとも高く、清川地区が58.1%ともっとも低くなっている。

図表4-50 かかりつけ薬局の有無

		回答者数(人)	はい	いいえ	無回答
全体		1,146	64.6	30.5	4.9
居住地域別	谷中地区	86	62.8	33.7	3.5
	台東地区	172	69.8	26.7	3.5
	蔵前地区	185	59.5	35.7	4.9
	浅草地区	189	66.7	27.5	5.8
	三ノ輪地区	144	76.4	20.1	3.5
	松が谷地区	192	62.0	33.9	4.2
	清川地区	136	58.1	37.5	4.4

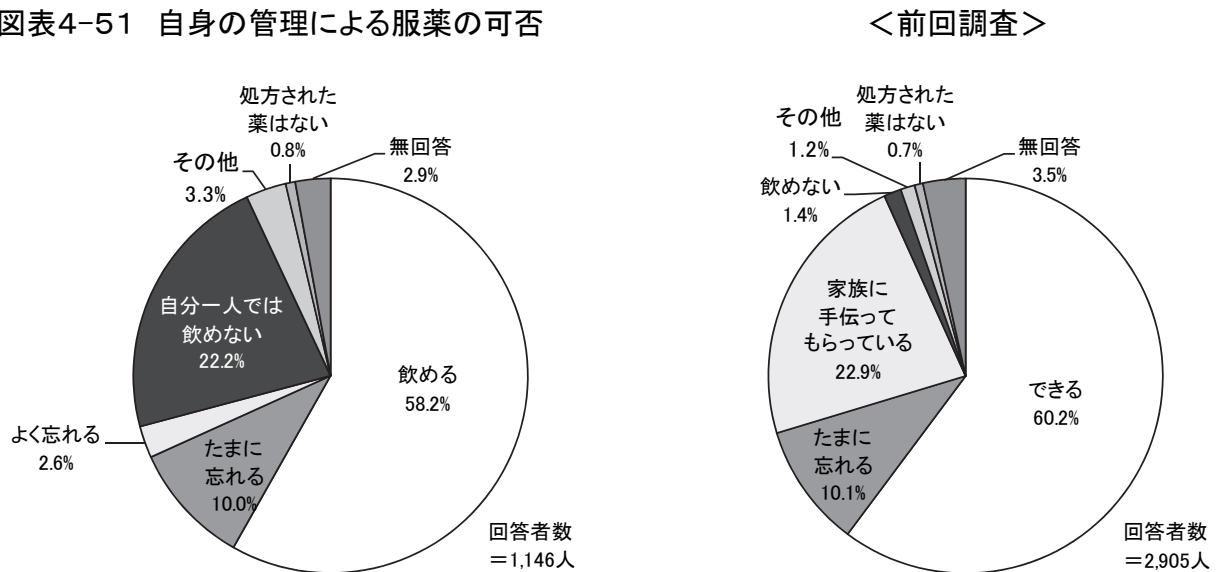
1.3 自身の管理による服薬の可否

問 25 主治医から処方された薬を、自分で管理して、指示どおりに飲むことができますか。
(1つに○)

自身の管理による服薬の可否は、「飲める」と回答した人が 58.2%を占めており、「自分一人では飲めない」22.2%、「たまに忘れる」10.0%、「よく忘れる」2.6%となっている。

また、「飲める」（前回調査は「できる」）及び「たまに忘れる」と回答した人は、前回調査とほぼ同様の結果となっている。

図表4-51 自身の管理による服薬の可否



要介護度別にみると、要支援1・2の人は「飲める」と回答した人が約8割を占めているが、介護度の高い層ほど割合は低くなり、要介護3～5の人では「自分一人では飲めない」と回答した人が過半数を占めている。

図表4-52 自身の管理による服薬の可否

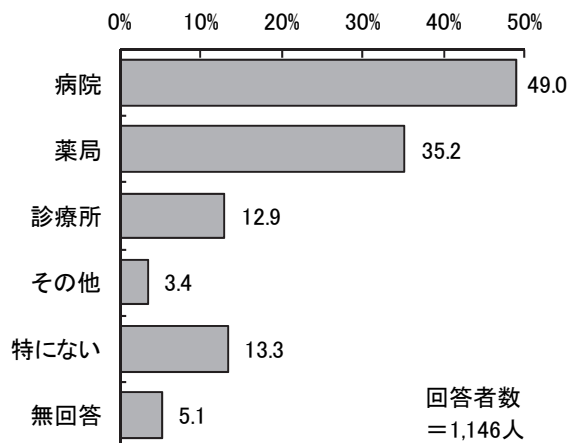
		回答者数(人)	飲める	たまに忘れる	よく忘れる	自分一人では飲めない	その他	処方された薬はない	無回答
全体		1,146	58.2	10.0	2.6	22.2	3.3	0.8	2.9
要介護度別	要支援1	273	79.9	9.9	2.6	5.1	1.1	0.7	0.7
	要支援2	226	79.2	11.1	1.3	5.8	0.9	0.4	1.3
	要介護1	214	49.1	12.1	7.0	24.8	5.1	0.5	1.4
	要介護2	187	41.7	13.4	1.6	33.7	5.9	0.0	3.7
	要介護3	71	23.9	9.9	2.8	53.5	7.0	1.4	1.4
	要介護4	52	25.0	1.9	0.0	69.2	3.8	0.0	0.0
	要介護5	56	16.1	5.4	0.0	55.4	5.4	7.1	10.7

1.4 薬についての相談場所

問 26 薬の飲み合わせや副作用については、どこに相談しますか。
(あてはまるものすべてに○)

薬についての相談場所は、「病院」49.0%、「薬局」35.2%の順となっている。

図表4-53 薬についての相談場所(複数回答)

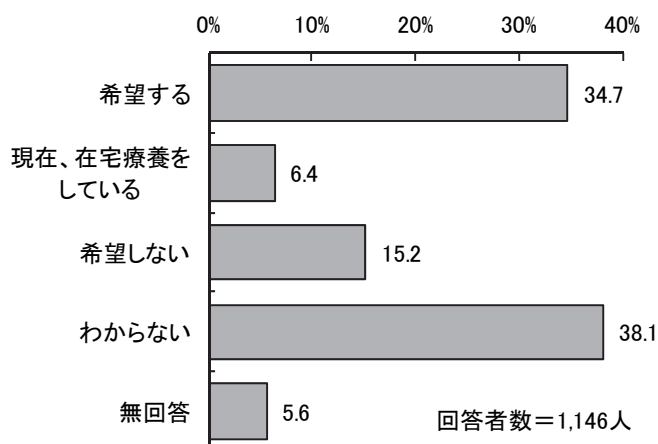


1.5 在宅療養に対する意向

問 27 脳卒中の後遺症や末期がんなどで療養が必要になった場合、自宅で往診などの医療や介護サービスを受けながら生活する「在宅療養」を希望しますか。
(近いもの1つに○)

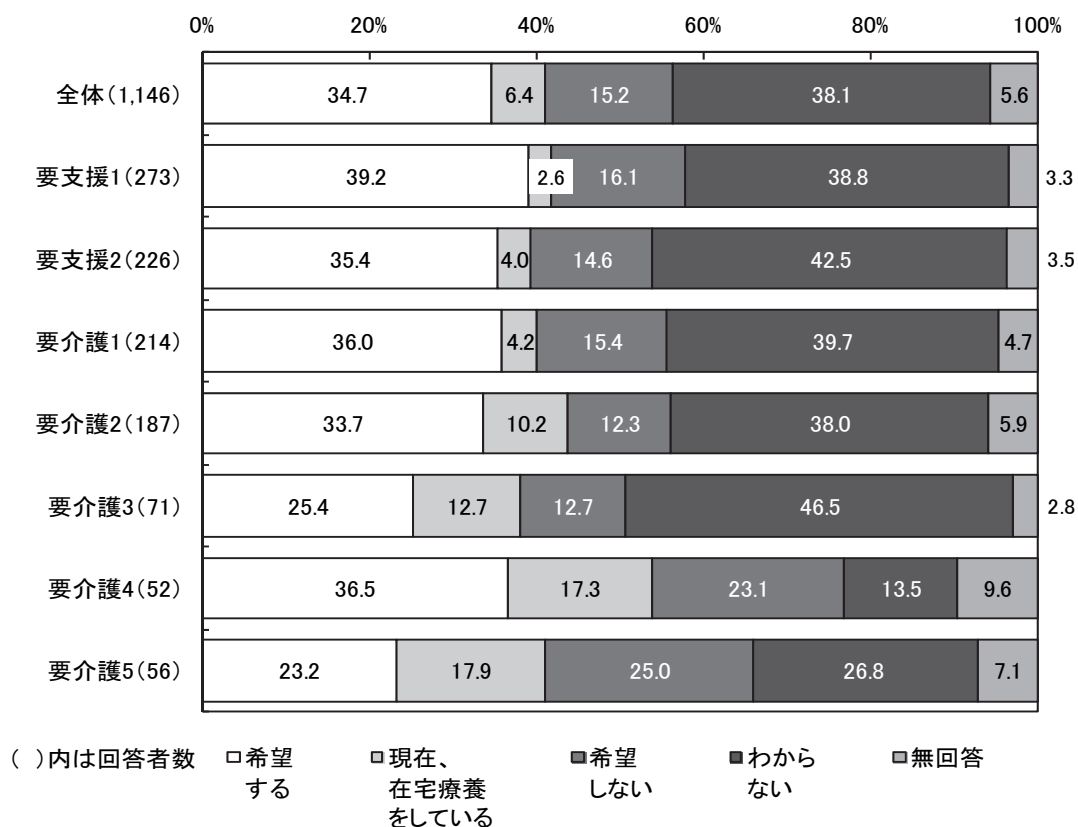
在宅療養を「希望する」と回答した人は 34.7%である。一方「希望しない」と回答した人は 15.2%であり、「希望する」人が「希望しない」人を 19.5 ポイント上回っている。また、6.4%が「現在、在宅療養をしている」と回答している。

図表4-54 在宅療養に対する意向



要介護度別にみると、要介護4では23.1%、要介護5では25.0%と、介護度が高い人ほど、在宅療養を希望しない割合が高くなっている。また、要介護2~5の人では「現在、在宅療養をしている」がそれぞれ1割を超えており、要介護5の人では17.9%ともっとも高い割合となっている。

図表4-55 在宅療養に対する意向



家族構成別にみると、他に比べて夫婦のみ世帯の人に「希望する」と回答した人の割合が高くなっている。

かかりつけ医、歯科医、薬局の有無別にみると、いずれもある人のほうが「希望する」と回答した人の割合が高くなっている。

図表4-56 在宅療養に対する意向

		回答者数(人)	希望する	現在、在宅療養をしている	希望しない	わからない	無回答
全 体		1,146	34.7	6.4	15.2	38.1	5.6
家族構成別	ひとり暮らし	336	31.3	4.8	17.0	41.7	5.4
	夫婦のみ世帯 (配偶者は65歳以上)	280	41.1	6.8	12.1	36.1	3.9
	夫婦のみ世帯 (配偶者は64歳以下)	13	53.8	23.1	15.4	7.7	0.0
	世帯全員が65歳以上	45	31.1	2.2	26.7	35.6	4.4
	その他の世帯	420	33.8	7.6	15.0	38.8	4.8
かかりつけ医	あり	833	36.5	6.6	14.5	38.7	3.7
	なし	250	33.2	5.6	18.4	37.2	5.6
かかりつけ歯科医	あり	735	39.6	6.0	14.3	36.6	3.5
	なし	341	27.9	6.7	16.7	43.7	5.0
かかりつけ薬局	あり	740	37.0	7.4	15.5	36.8	3.2
	なし	350	32.9	4.0	15.4	43.4	4.3

Ⅲ 認知症や権利擁護について

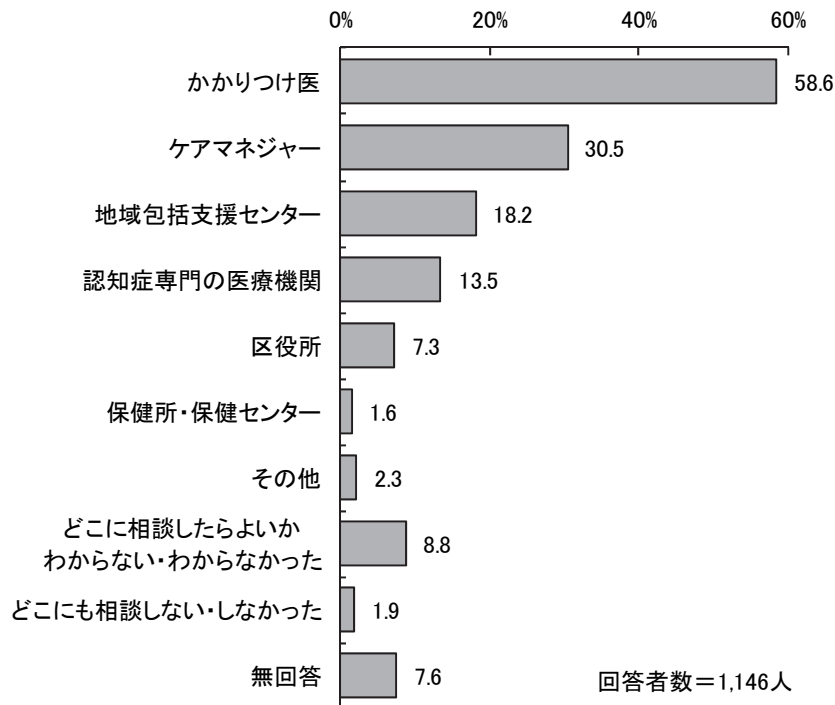
1 認知症に関する相談場所

問 28 あなたやご家族に認知症の不安が生じた場合、どこに相談しますか・しましたか。
(あてはまるものすべてに○)

認知症に関する相談場所は、「かかりつけ医」が 58.6%ともっとも高く、次いで、「ケアマネジャー」30.5%、「地域包括支援センター」18.2%、「認知症専門の医療機関」13.5%となっている。

一方、「どこに相談したらよいかわからない・わからなかった」と回答した人は 8.8%となっている。

図表4-57 認知症に関する相談場所(複数回答)



居住地域別にみると、「どこに相談したらよいかわからない・わからなかった」と回答した人の割合は、蔵前地区、三ノ輪地区で1割を超え、他に比べて高い割合となっている。

図表4-58 認知症に関する相談場所

		回答者数(人)	かかりつけ医	ケアマネジャー	地域包括支援センター	認知症専門の医療機関	区役所	保健所・保健センター	その他	どこに相談したらよいかわからない・わからなかった	どこにも相談しない・しなかった	無回答
全 体		1,146	58.6	30.5	18.2	13.5	7.3	1.6	2.3	8.8	1.9	7.6
居住地域別	谷中地区	86	67.4	37.2	31.4	12.8	4.7	2.3	3.5	4.7	1.2	5.8
	台東地区	172	54.1	28.5	19.2	12.8	7.0	2.9	1.2	9.3	3.5	6.4
	蔵前地区	185	59.5	27.6	15.1	15.1	4.9	0.5	2.7	11.4	1.1	7.6
	浅草地区	189	60.8	30.2	17.5	16.4	7.9	2.6	2.1	9.5	2.1	5.3
	三ノ輪地区	144	56.3	28.5	16.0	10.4	6.9	0.0	3.5	11.8	2.1	6.3
	松が谷地区	192	58.9	39.6	14.1	16.1	10.9	2.1	2.6	7.8	1.6	7.3
	清川地区	136	62.5	23.5	22.1	8.1	5.9	0.7	1.5	5.1	0.7	10.3

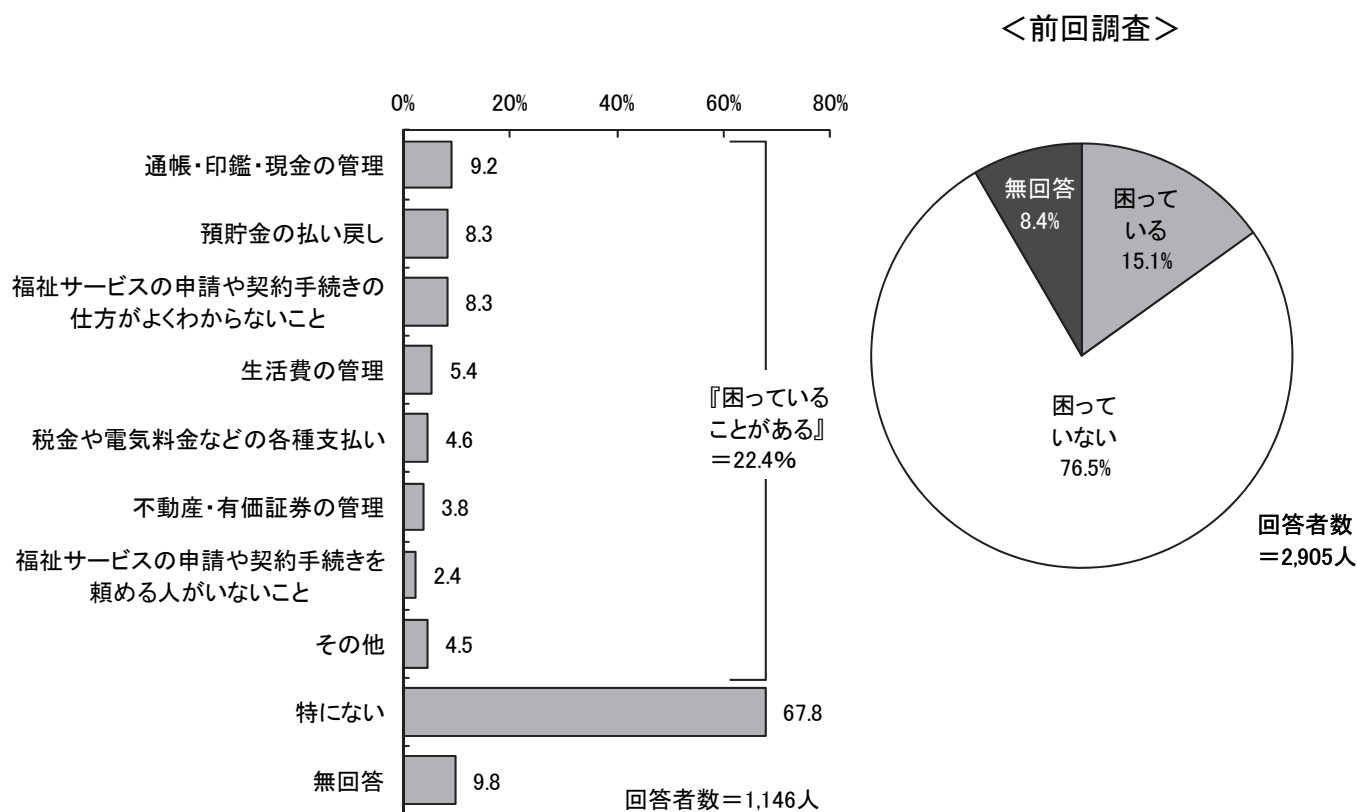
2 福祉サービスなどの申請や契約の手続き等の困りごと

問 29 日ごろの金銭や財産の管理、福祉サービスなどの申請や契約の手続き等について、困っていることがありますか。(あてはまるものすべてに○)

福祉サービスなどの申請や契約の手続き等の困っていることについて、「特にない」と回答した人は 67.8%であり、22.4%の人が“困っていることがある”(100%から「特にない」と「無回答」を除いた割合)と回答している。前回調査とは選択肢が異なるものの、前回「困っている」と回答した人は 15.1%であり、今回のほうが困っている人の割合は高くなっている。

具体的に困っていることは、「通帳・印鑑・現金の管理」9.2%、「預貯金の払い戻し」、「福祉サービスの申請や契約手続きの仕方がよくわからないこと」各 8.3%となっている。

図表4-59 福祉サービスなどの申請や契約の手続き等の困りごと(複数回答)



※ 『困っていることがある』 = 100% - 「特にない」 + 「無回答」

家族構成別にみると、“困っていることがある”人の割合は、他に比べて夫婦のみ世帯（配偶者は65歳以上）が27.9%と高く、「通帳・印鑑・現金の管理」、「福祉サービスの申請や契約手続きの仕方がよくわからないこと」及び「預貯金の払い戻し」が他に比べて高い割合となっている。

要介護度別にみると、“困っていることがある”人の割合は要介護1の人が27.6%ともっとも高く、「福祉サービスの申請や契約手続きの仕方がよくわからないこと」は14.0%となっている。

図表4-60 福祉サービスなどの申請や契約の手続き等の困りごと

		回答者数(人)	通帳・印鑑・現金の管理	預貯金の払い戻し	福祉サービスの申請や契約手続きの仕方がよくわからないこと	生活費の管理	税金や電気料金などの各種支払い	不動産・有価証券の管理	福祉サービスの申請や契約手続きを頼める人がいないこと	その他	特になし	無回答	『困っていることがある』
全体		1,146	9.2	8.3	8.3	5.4	4.6	3.8	2.4	4.5	67.8	9.8	22.4
家族構成別	ひとり暮らし	336	7.7	7.7	6.8	4.8	4.2	3.6	2.7	3.6	68.2	10.7	21.1
	夫婦のみ世帯 (配偶者は65歳以上)	280	13.9	10.4	10.7	6.8	5.7	5.7	3.6	6.1	61.4	10.7	27.9
	夫婦のみ世帯 (配偶者は64歳以下)	13	7.7	7.7	7.7	7.7	7.7	7.7	0.0	0.0	76.9	7.7	15.4
	世帯全員が65歳以上	45	8.9	6.7	2.2	8.9	6.7	6.7	0.0	4.4	66.7	11.1	22.2
	その他の世帯	420	7.1	7.6	8.8	4.3	3.3	2.4	1.9	4.8	74.0	5.5	20.5
要介護度別	要支援1	273	8.1	6.6	8.8	4.0	2.9	1.5	1.8	1.8	70.0	9.9	20.1
	要支援2	226	9.3	6.2	4.9	5.3	4.0	3.1	4.0	2.7	70.4	7.5	22.1
	要介護1	214	11.2	11.7	14.0	6.5	6.1	6.5	2.3	7.0	62.1	10.3	27.6
	要介護2	187	11.2	9.1	7.0	6.4	4.3	4.3	0.5	4.8	69.0	8.0	23.0
	要介護3	71	8.5	11.3	9.9	8.5	7.0	5.6	4.2	12.7	70.4	2.8	26.8
	要介護4	52	5.8	7.7	3.8	1.9	5.8	1.9	0.0	13.5	73.1	3.8	23.1
	要介護5	56	7.1	10.7	7.1	5.4	5.4	8.9	3.6	1.8	71.4	14.3	14.3

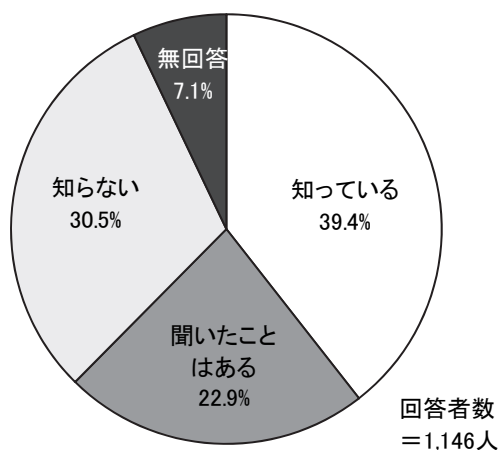
※ 『困っていることがある』 = 100% - 「特になし」 + 「無回答」

3 成年後見制度の認知度

問 30 認知症などにより判断能力が十分でない人に、本人の権利を守るための援助者を選び、不動産や預貯金などを管理し、施設への入所に関する契約などを支援する「成年後見制度」を知っていますか。(1つに○)

成年後見制度を「知っている」または「聞いたことはある」と回答した人は 62.3%であり、「知らない」と回答した人は 30.5%となっている。

図表4-61 成年後見制度の認知度



年齢別にみると、「知っている」と回答した人は 75～79 歳で 46.2%ともっとも高く、90 歳以上で 36.9%ともっとも低くなっている。

図表4-62 成年後見制度の認知度

		回答者数(人)	知っている	聞いたことはある	知らない	無回答
全体		1,146	39.4	22.9	30.5	7.1
年齢別	65～69 歳	64	42.2	20.3	29.7	7.8
	70～74 歳	85	38.8	25.9	30.6	4.7
	75～79 歳	212	46.2	22.2	26.4	5.2
	80～84 歳	284	38.4	25.0	28.9	7.7
	85～89 歳	276	38.4	23.2	32.2	6.2
	90 歳以上	198	36.9	20.2	35.9	7.1

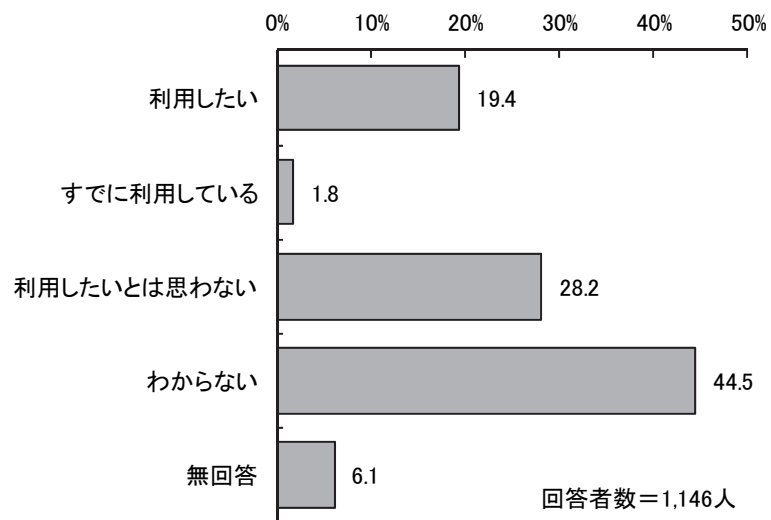
4 成年後見制度の利用意向

問 31 あなたやご家族が、認知症などにより判断能力が十分でなくなった場合に、「成年後見制度」を利用したいと思いませんか。(1つに○)

成年後見制度の利用意向については、「利用したい」と回答した人が 19.4%となっている。

一方、「利用したいとは思わない」と回答した人は 28.2%であり、「わからない」と回答した人も 44.5%となっている。

図表4-63 成年後見制度の利用意向



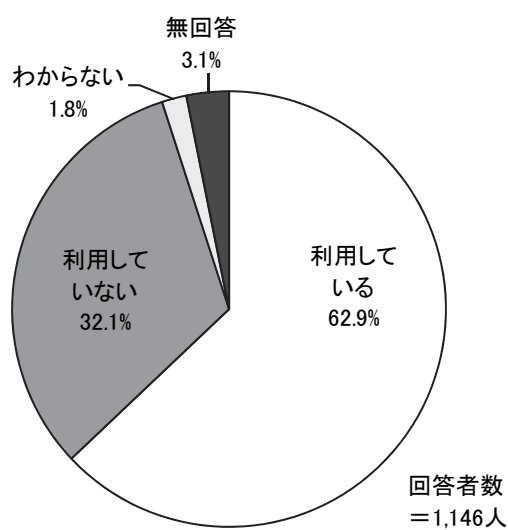
IV 介護保険サービスについて

1 介護保険サービスの利用状況

問 32 あなた(あて名のご本人)は、現在、介護保険サービスを利用していますか。
(1つに○)

介護保険サービスの利用状況を見ると、「利用している」と回答した人が 62.9%、「利用していない」と回答した人が 32.1%となっている。

図表4-64 介護保険サービスの利用状況

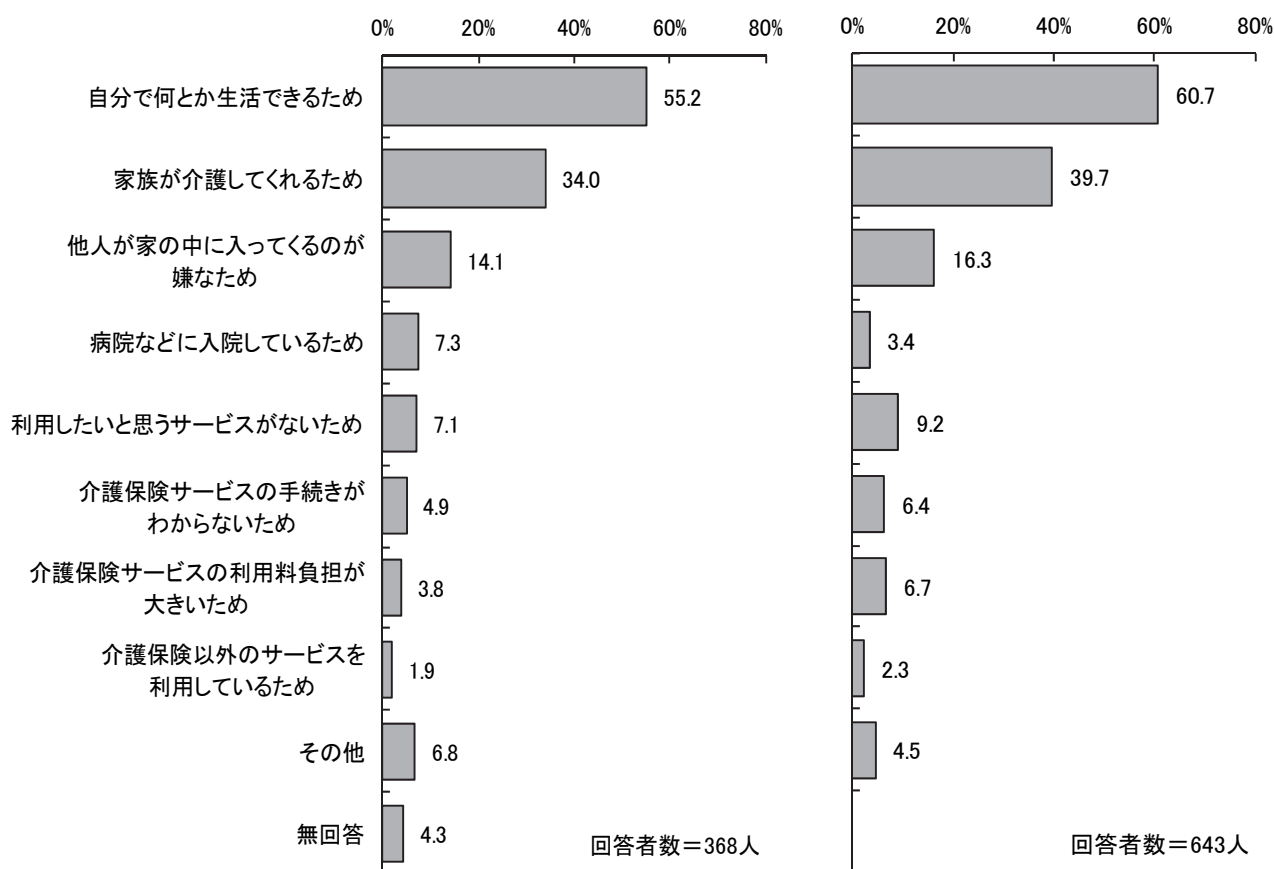


2 介護保険サービスを利用していない理由

問 32-1 問 32 で「利用していない」に○をした方におうかがいします。介護保険サービスを利用していないのはなぜですか。(あてはまるものすべてに○)

介護保険サービスを利用していない理由は、「自分で何とか生活できるため」55.2%、「家族が介護してくれるため」34.0%、「他人が家の中に入ってくるのが嫌なため」14.1%が上位3位であり、前回調査と同様の結果となっている。第4位は「病院などに入院しているため」7.3%であり、前回よりも高い割合となっている。

図表4-65 介護保険サービスを利用していない理由(複数回答) <前回調査>

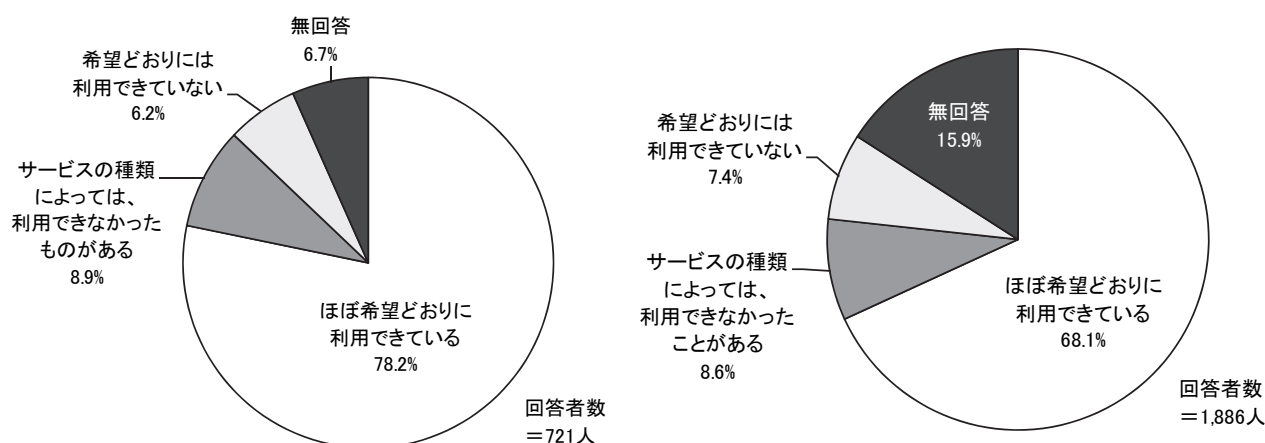


3 介護保険サービス利用の満足度

問 33 希望どおりに介護保険サービスを利用できていますか。(1つに○)

介護保険サービス利用の満足度は、「ほぼ希望どおりに利用できている」が78.2%を占め、前回調査よりも10.1ポイント高くなっている。また、「サービスの種類によっては、利用できなかったものがある」8.9%、「希望どおりには利用できていない」6.2%となっている。

図表4-66 介護保険サービス利用の満足度

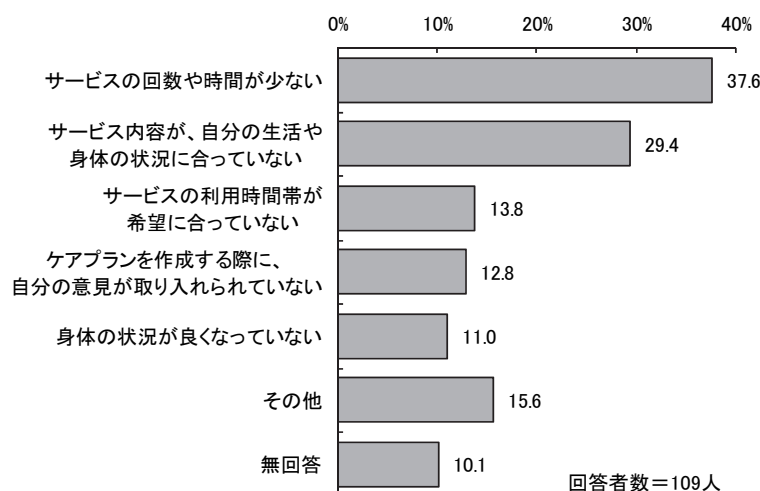


4 希望どおりに利用できていない理由

問 33-1 問 33 で「ほぼ希望どおりに利用できている」以外に○をした方におうかがいします。希望どおりに利用できていない理由、満足していない点は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

希望どおりに利用できていない理由は、「サービスの回数や時間が少ない」37.6%、「サービス内容が、自分の生活や身体の状態に合っていない」29.4%、「サービスの利用時間帯が希望に合っていない」13.8%などとなっている。

図表4-67 希望どおりに利用できていない理由(複数回答)



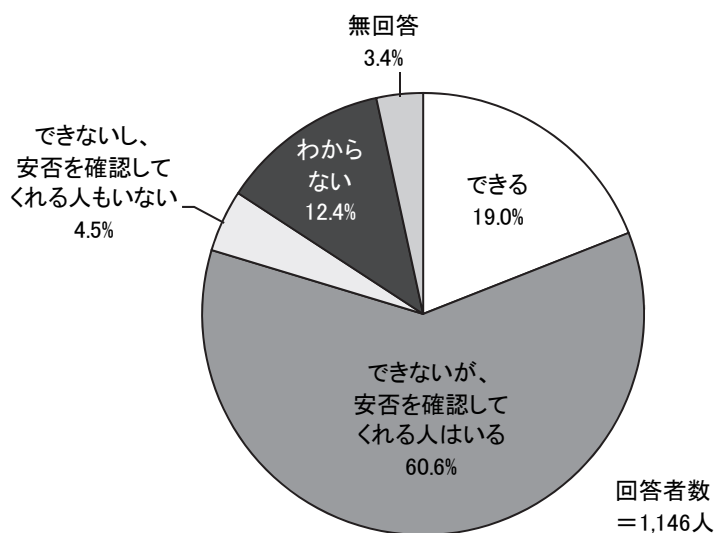
V 災害時の避難などについて

1 災害時の避難の可否

問 34 災害時(台風や地震等)や火災などの緊急時に、一人で避難することはできますか。(1つに〇)

災害時や火災などの緊急時に一人で避難「できる」と回答した人は19.0%であり、「できないが、安否を確認してくれる人はいる」60.6%とあわせて79.6%の人が、避難または安否確認ができる状況にあることがわかる。一方、「できないし、安否を確認してくれる人もいない」と回答した人は4.5%となっている。

図表4-68 災害時の避難の可否



家族構成別にみると、ひとり暮らしの人の6.0%、夫婦のみ世帯（配偶者は65歳以上）の人では6.8%が「できないし、安否を確認してくれる人もいない」と回答しており、他に比べて高い割合となっている。

困ったときに頼れる人の有無別にみると、いない人では「できないし、安否を確認してくれる人もいない」と回答した人が22.2%と、他に比べて高い割合となっている。

要介護度別にみると、要支援1の人では「できる」と回答した人が34.8%であるが、介護度が高くなるほどできる人の割合は低くなり、要介護5の人では1.8%となっている。また、「できないし、安否確認をしてくれる人もいない」と回答した人は、要介護5の人で5.4%ともっとも高い割合となっている。

図表4-69 災害時の避難の可否

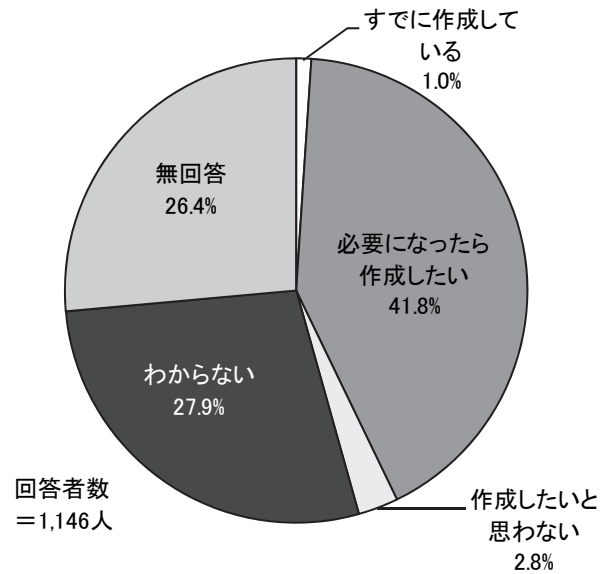
		回答者数(人)	できる	できないが、安否を確認してくれる人はいる	できないし、安否を確認してくれる人もいない	わからない	無回答
全体		1,146	19.0	60.6	4.5	12.4	3.4
家族構成別	ひとり暮らし	336	24.7	51.5	6.0	16.4	1.5
	夫婦のみ世帯 (配偶者は65歳以上)	280	19.3	54.6	6.8	13.9	5.4
	夫婦のみ世帯 (配偶者は64歳以下)	13	15.4	76.9	0.0	7.7	0.0
	世帯全員が65歳以上	45	8.9	73.3	0.0	15.6	2.2
	その他の世帯	420	14.3	71.7	3.1	8.3	2.6
頼れる人の有無別	同居している・近所に住んでいる	680	16.9	70.7	1.8	8.5	2.1
	同居・近所ではないが、行き来できる所にいる	260	22.7	52.7	5.4	14.6	4.6
	いるが、行き来できる所には住んでいない	97	20.6	43.3	11.3	23.7	1.0
	いない	63	20.6	27.0	22.2	27.0	3.2
要介護度別	要支援1	273	34.8	42.5	3.7	17.2	1.8
	要支援2	226	20.8	61.1	4.0	13.3	0.9
	要介護1	214	14.0	63.1	7.9	12.1	2.8
	要介護2	187	9.6	75.9	2.7	7.0	4.8
	要介護3	71	4.2	77.5	2.8	12.7	2.8
	要介護4	52	1.9	94.2	1.9	0.0	1.9
	要介護5	56	1.8	83.9	5.4	7.1	1.8

2 個別支援プランの作成意向

問 35 この個別支援プランを作成したいと思いますか。(1つに○)

個別支援プランの作成意向については、「必要になったら作成したい」との意向を示した人が41.8%であり、「作成したいと思わない」と回答した人は2.8%となっている。

図表4-70 個別支援プランの作成意向



要介護度別にみると「必要になったら作成したい」と回答した人は、要介護3・4の人では5割を超え、他に比べて高い割合となっている。

災害時の避難の可否別にみると、「できる」人に比べて、「できないが、安否を確認してくれる人はいる」人及び「できないし、安否を確認してくれる人もいない」人において、「必要になったら作成したい」と回答した人の割合が高くなっている。

図表4-71 個別支援プランの作成意向

		回答者数(人)	すでに作成している	必要になったら作成したい	作成したいと思わない	わからない	無回答
全体		1,146	1.0	41.8	2.8	27.9	26.4
要介護度別	要支援1	273	0.0	43.6	1.8	25.3	29.3
	要支援2	226	0.0	38.1	1.8	28.3	31.9
	要介護1	214	0.0	44.4	1.9	28.5	25.2
	要介護2	187	0.0	39.6	3.2	31.6	25.7
	要介護3	71	5.6	56.3	1.4	29.6	7.0
	要介護4	52	7.7	57.7	11.5	15.4	7.7
	要介護5	56	5.4	42.9	5.4	35.7	10.7
避難の可否別	できる	218	0.9	38.1	4.6	22.5	33.9
	できないが、安否を確認してくれる人はいる	695	1.3	46.9	2.6	27.6	21.6
	できないし、安否を確認してくれる人もいない	52	0.0	46.2	5.8	26.9	21.2
	わからない	142	0.7	31.0	0.7	43.7	23.9

VI 介護保険制度や介護について

1 介護保険料額の負担感

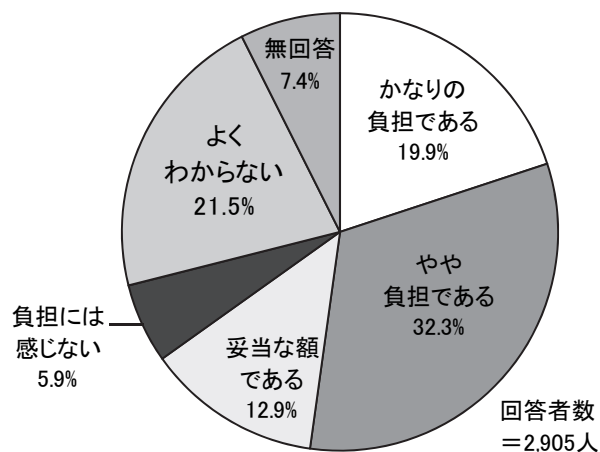
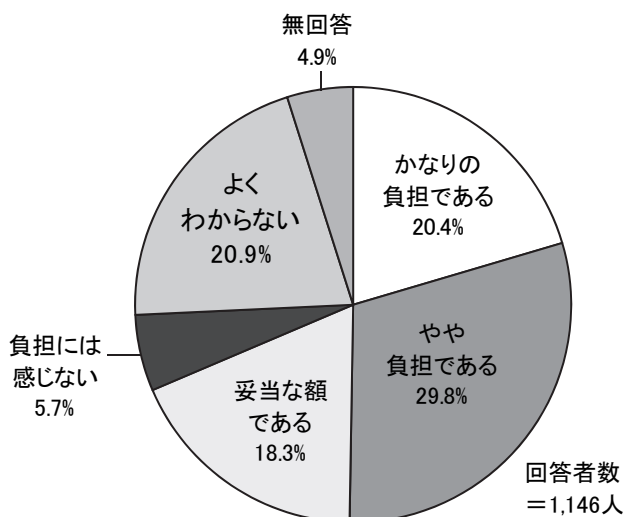
問 36 あなたは、介護保険料の額をどのように感じていますか。(1つに○)

介護保険料額について、「やや負担である」と回答した人が 29.8%ともっとも高く、次いで「かなりの負担である」が 20.4%となっている。一方、「妥当な額である」18.3%、「負担には感じない」5.7%となっている。

「かなり負担である」と回答した人の割合は前回調査よりも 0.5 ポイント高いが、「やや負担である」は 2.5 ポイント低くなっており、「妥当な額である」も 5.4 ポイント高くなっている。

図表4-72 介護保険料額の負担感

<前回調査>



暮らし向き別にみると、暮らし向きが苦しい人ほど「かなりの負担である」と回答した人の割合が高く、苦しいと回答した人では 54.1%となっている。一方、ゆとりがあると回答した人では「かなりの負担である」は 5.3%であり、「負担には感じない」が 25.3%となっている。

昨年の年間収入別にみると、80 万円未満では 33.3%の人が、「かなりの負担である」と回答している。

図表4-73 介護保険料額の負担感

		回答者数(人)	かなりの負担である	やや負担である	妥当な額である	負担には感じない	よくわからない	無回答
全 体		1,146	20.4	29.8	18.3	5.7	20.9	4.9
暮らし向き別	ゆとりがある	75	5.3	17.3	26.7	25.3	22.7	2.7
	ややゆとりがある	92	10.9	32.6	28.3	10.9	17.4	0.0
	ふつう	626	15.2	31.0	20.3	4.8	23.3	5.4
	やや苦しい	193	30.1	40.4	9.8	0.5	19.2	0.0
	苦しい	111	54.1	16.2	10.8	1.8	13.5	3.6
昨年の年間収入別	80 万円未満	141	33.3	19.9	17.7	4.3	19.9	5.0
	80 万円～200 万円未満	304	23.7	30.6	16.4	3.6	21.7	3.9
	200 万円～300 万円未満	192	20.8	32.8	22.9	6.3	15.1	2.1
	300 万円～500 万円未満	166	17.5	42.2	17.5	6.0	14.5	2.4
	500 万円～750 万円未満	74	13.5	33.8	16.2	6.8	25.7	4.1
	750 万円～1,000 万円未満	49	14.3	30.6	32.7	10.2	12.2	0.0
	1,000 万円以上	40	5.0	22.5	30.0	12.5	30.0	0.0

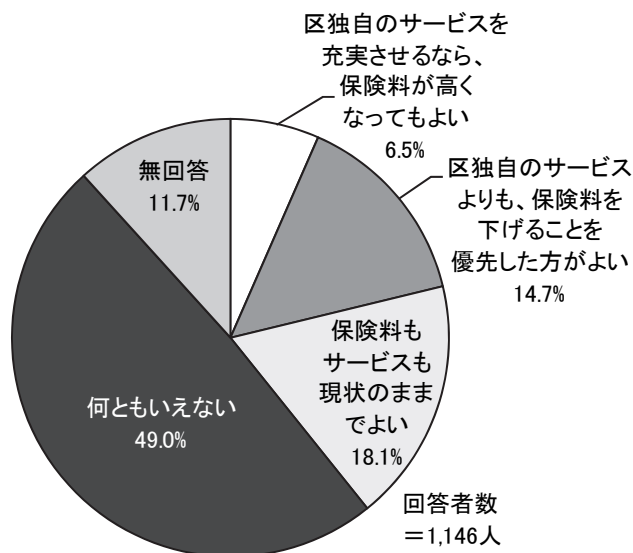
2 区独自サービスに対する考え方

問 37 区独自のサービスについて、あなたのお考えをおうかがいします。
(近いもの1つに○)

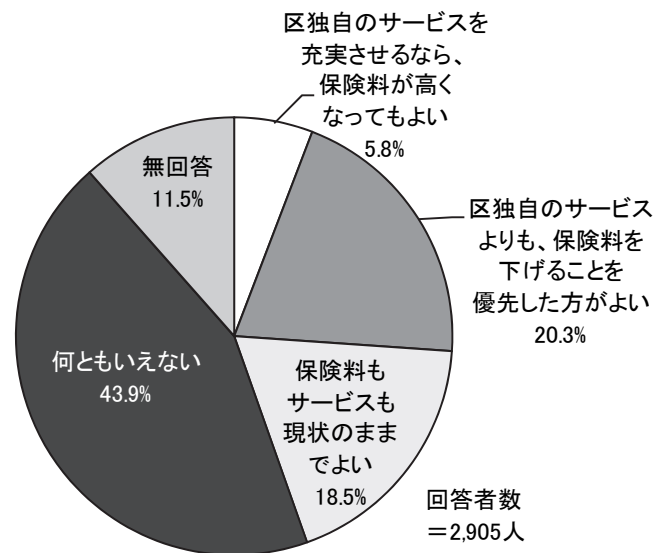
区独自サービスに対する考え方は、「保険料もサービスも現状のままでよい」18.1%、「区独自のサービスよりも、保険料を下げることを優先した方がよい」14.7%、「区独自のサービスを充実させるなら、保険料が高くなってもよい」6.5%となっている。

前回調査よりも「区独自のサービスよりも、保険料を下げることを優先した方がよい」の割合が低い、「区独自のサービスを充実させるなら、保険料が高くなってもよい」及び「保険料もサービスも現状のままでよい」の割合は、ほぼ同様の結果となっている。

図表4-74 区独自サービスに対する考え方



<前回調査>



暮らし向き別にみると、ゆとりがある層ほど「区独自のサービスを充実させるなら、保険料が高くなってもよい」と回答した人の割合が高く、ゆとりがある人では 17.3%となっている。一方、やや苦しい及び苦しいと回答した人では「区独自のサービスよりも、保険料を下げることを優先した方がよい」と回答した人が約 2 割と、他に比べて高い割合となっている。

介護保険料の負担感別にみると、かなりの負担であると感じている人では「区独自のサービスよりも、保険料を下げることを優先した方がよい」と回答した人が 35.9%となっている。一方、負担には感じない人では「区独自のサービスを充実させるなら、保険料が高くなってもよい」、「保険料もサービスも現状のままでよい」と回答した人がいずれも 21.5%となっている。

図表4-75 区独自サービスに対する考え方

		回答者数(人)	区独自のサービスを充実させるなら、保険料が高くなってもよい	先した方がよい、保険料を下げることを優先した方がよい	区独自のサービスよりも、保険料もサービスも現状のままでよい	何ともいえない	無回答
全体		1,146	6.5	14.7	18.1	49.0	11.7
暮らし向き別	ゆとりがある	75	17.3	4.0	20.0	45.3	13.3
	ややゆとりがある	92	7.6	18.5	27.2	45.7	1.1
	ふつう	626	6.4	13.3	18.8	50.8	10.7
	やや苦しい	193	5.7	19.2	17.1	49.7	8.3
	苦しい	111	1.8	21.6	10.8	50.5	15.3
保険料額の負担感別	かなりの負担である	234	3.8	35.9	8.1	42.3	9.8
	やや負担である	342	6.4	17.5	19.0	48.5	8.5
	妥当な額である	210	9.0	4.3	38.6	40.5	7.6
	負担には感じない	65	21.5	1.5	21.5	43.1	12.3
	よくわからない	239	3.8	3.8	11.3	72.4	8.8

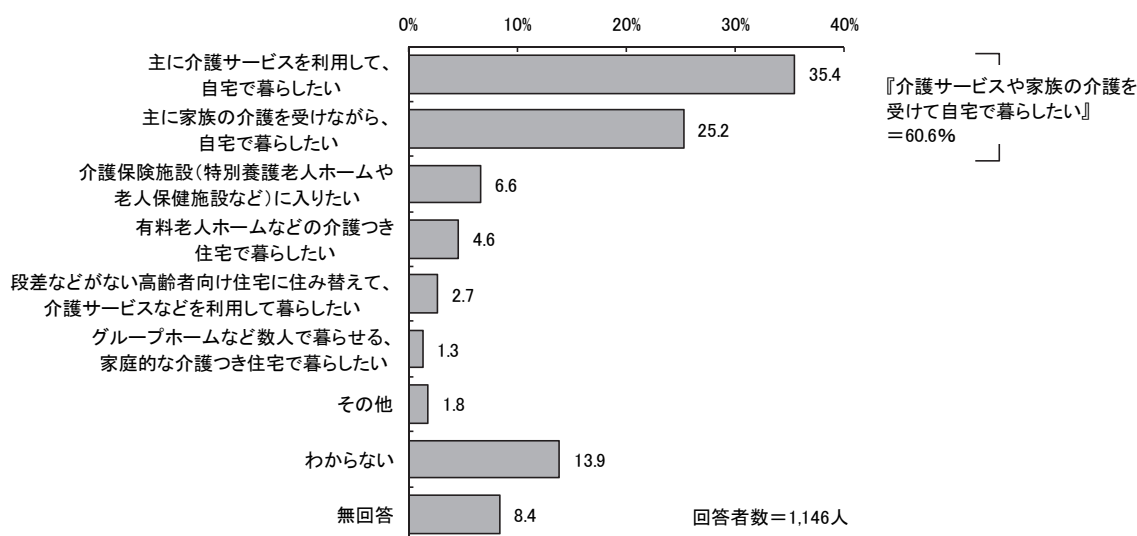
3 今後の暮らし方の希望

問 38 今後、どのような暮らし方を希望しますか。(近いもの1つに○)

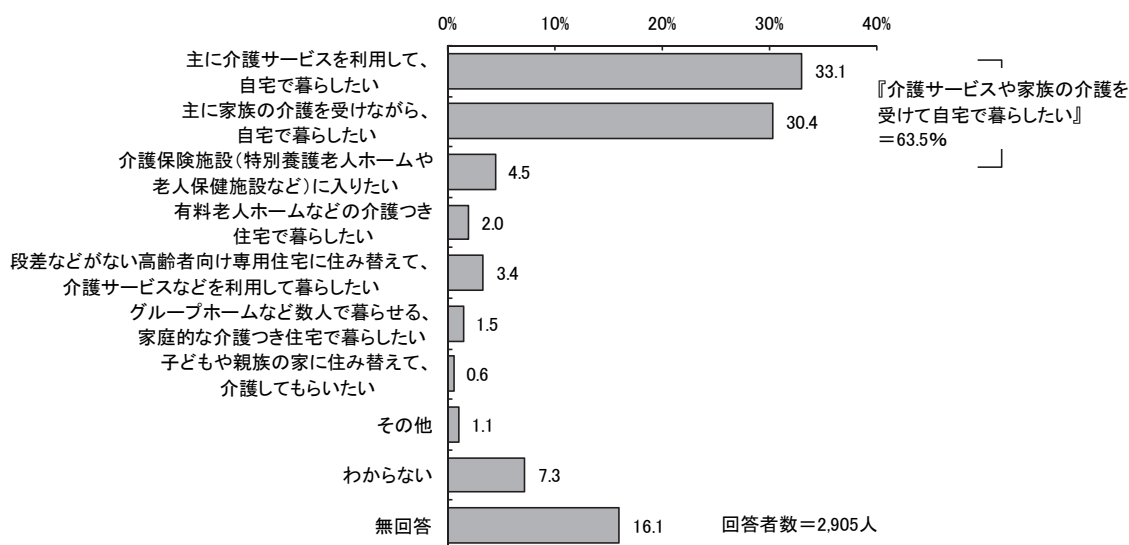
今後の暮らし方として、「主に介護サービスを利用して、自宅で暮らしたい」と回答した人が 35.4%、次いで「主に家族の介護を受けながら、自宅で暮らしたい」と回答した人が 25.2%であり、これらをあわせた 60.6%が“介護サービスや家族の介護を受けて自宅で暮らしたい”との意向を示している。

前回調査は選択肢が若干異なるが、今回調査のほうが、自宅で暮らしたいと回答した人の割合は低く、「有料老人ホームなどの介護つき住宅で暮らしたい」及び「介護保険施設（特別養護老人ホームや老人保健施設など）に入りたい」の割合が高くなっている。

図表4-76 今後の暮らし方の希望



<前回調査>



※ 『介護サービスや家族の介護を受けて自宅で暮らしたい』=「主に介護サービスを利用して、自宅で暮らしたい」+「主に家族の介護を受けながら、自宅で暮らしたい」

要介護度別にみると、介護度にかかわらず、「主に介護サービスを利用して、自宅で暮らしたい」の割合がもっとも高く、次いで「主に家族の介護を受けながら、自宅で暮らしたい」の割合が高い。また、要介護4の人では「介護保険施設（特別養護老人ホームや老人保健施設など）に入りたい」が19.2%、要介護5の人では14.3%と、他に比べて高い割合となっている。

家族構成別にみると、ひとり暮らしの人は「主に介護サービスを利用して、自宅で暮らしたい」38.7%に次いで、「主に家族の介護を受けながら、自宅で暮らしたい」13.1%、「グループホームなど数人で暮らせる、家庭的な介護つき住宅で暮らしたい」8.0%となっている。

図表4-77 今後の暮らし方の希望

		回答者数(人)	主に介護サービスを利用して、自宅で暮らしたい	主に家族の介護を受けながら、自宅で暮らしたい	介護保険施設(特別養護老人ホームや老人保健施設など)に入りたい	有料老人ホームなどの介護つき住宅で暮らしたい	有料老人ホームなどの介護つき住宅で暮らしたい	段差などがない高齢者向け住宅に住み替えて、介護サービスなどを利用して暮らしたい	その他	わからない	無回答	『介護サービスや家族の介護を受けて自宅で暮らしたい』
全体		1,146	35.4	25.2	6.6	4.6	2.7	1.3	1.8	13.9	8.4	60.6
要介護度別	要支援1	273	36.6	20.1	5.9	4.4	4.0	1.5	0.7	19.0	7.7	56.7
	要支援2	226	40.7	24.3	5.3	3.1	3.5	1.3	2.2	10.6	8.8	65.0
	要介護1	214	36.9	29.9	4.7	6.5	2.3	1.9	0.9	12.6	4.2	66.8
	要介護2	187	35.3	32.6	5.9	4.8	1.1	1.6	1.1	9.6	8.0	67.9
	要介護3	71	32.4	29.6	9.9	7.0	2.8	0.0	2.8	11.3	4.2	62.0
	要介護4	52	40.4	21.2	19.2	0.0	1.9	0.0	1.9	7.7	7.7	61.6
	要介護5	56	25.0	19.6	14.3	7.1	1.8	0.0	10.7	14.3	7.1	44.6
家族構成別	ひとり暮らし	336	38.7	13.1	6.3	6.8	2.1	8.0	2.7	13.4	8.9	51.8
	夫婦のみ世帯 (配偶者は65歳以上)	280	38.2	25.0	1.8	2.5	1.1	5.7	1.1	16.8	7.9	63.2
	夫婦のみ世帯 (配偶者は64歳以下)	13	23.1	53.8	0.0	0.0	0.0	7.7	0.0	15.4	0.0	76.9
	世帯全員が65歳以上	45	33.3	31.1	0.0	4.4	2.2	11.1	0.0	6.7	11.1	64.4
	その他の世帯	420	33.1	33.6	0.7	4.8	1.0	6.0	2.1	12.6	6.2	66.7

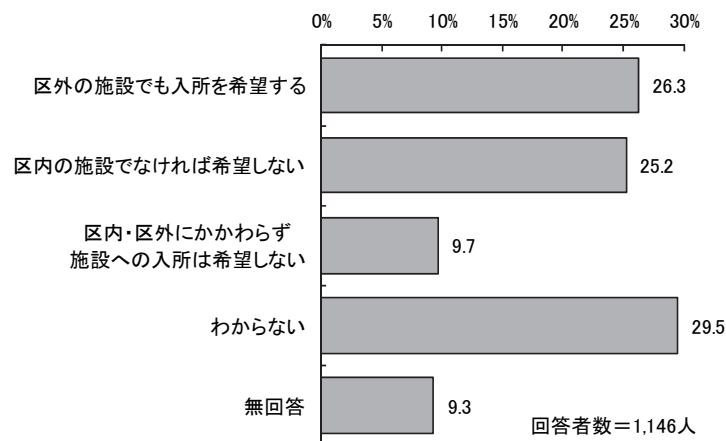
※ 『介護サービスや家族の介護を受けて自宅で暮らしたい』 = 「主に介護サービスを利用して、自宅で暮らしたい」 + 「主に家族の介護を受けながら、自宅で暮らしたい」

4 区外施設の入所意向

問 39 もしも介護保険施設(特別養護老人ホームや老人保健施設など)の入所が必要となった場合、区外の施設でも入所を希望しますか。(1つに○)

介護保険施設への入所が必要となった場合、「区外の施設でも入所を希望する」と回答した人は26.3%と、約4人に1人が区外施設への入所意向を示している。また、「区内の施設でなければ希望しない」25.2%、「区内・区外にかかわらず施設への入所は希望しない」9.7%となっている。

図表4-78 区外施設の入所意向



要介護度別にみると、要支援1及び要介護5の人では「区内の施設でなければ希望しない」、要支援2及び要介護1~3の人では「区外の施設でも入所を希望する」と回答した人が、それぞれもっとも高い割合となっている。要介護4の人は「区外の施設でも入所を希望する」及び「区内の施設でなければ希望しない」が同率となっている。

図表4-79 区外施設の入所意向

		回答者数(人)	区外の施設でも入所を希望する	区内の施設でなければ希望しない	区内・区外にかかわらず施設への入所は希望しない	わからない	無回答
全体		1,146	26.3	25.2	9.7	29.5	9.3
要介護度別	要支援1	273	21.6	30.8	9.2	32.2	6.2
	要支援2	226	27.0	23.9	9.3	31.0	8.8
	要介護1	214	30.8	22.0	10.3	30.4	6.5
	要介護2	187	31.0	20.9	8.6	29.4	10.2
	要介護3	71	28.2	25.4	14.1	22.5	9.9
	要介護4	52	28.8	28.8	15.4	23.1	3.8
	要介護5	56	23.2	37.5	10.7	17.9	10.7

Ⅶ 区の保健福祉サービスについて

1 区の保健福祉サービスの利用意向

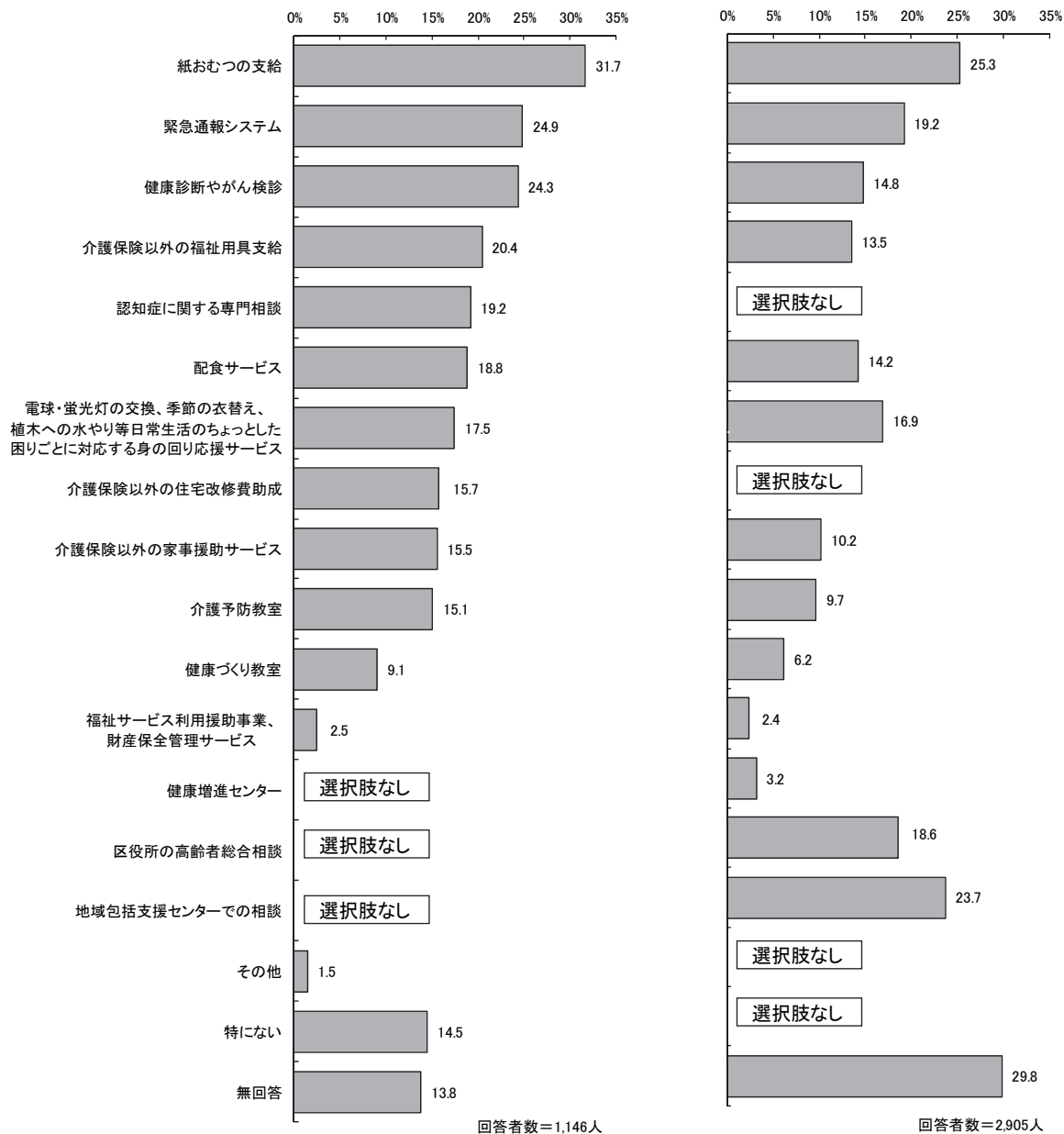
問 40 区などが実施している保健福祉サービスで、今後利用したい(続けたい)ものがありますか。(あてはまるものすべてに○)

区の保健福祉サービスの利用意向は、「紙おむつの支給」が31.7%ともっとも高く、次いで「緊急通報システム」24.9%、「健康診断やがん検診」24.3%、「介護保険以外の福祉用具支給」20.4%となっている。

前回調査と比較すると、「健康診断やがん検診」が9.5ポイント、「紙おむつの支給」が6.4ポイント、「緊急通報システム」が5.7ポイント高くなっている。

図表4-80 区の保健福祉サービスの利用意向(複数回答)

<前回調査>



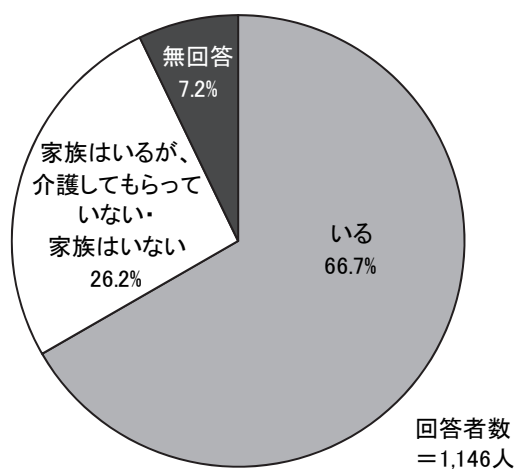
Ⅷ 主たる介護者の状況について

1 介護してくれる家族の有無

問 41 現在、あなたを介護してくれているご家族はいますか。(1つに○)

介護してくれる家族がいる人は 66.7% であり、「家族はいるが、介護してもらっていない・家族はいない」と回答した人は 26.2% となっている。

図表4-81 介護してくれる家族の有無



家族構成別にみると、介護してくれる家族がいる人の割合は、ひとり暮らしの人では 40.8%、夫婦のみ世帯(配偶者は 65 歳以上)の人では 73.9%、その他の世帯の人では 81.9% となっている。

図表4-82 介護してくれる家族の有無

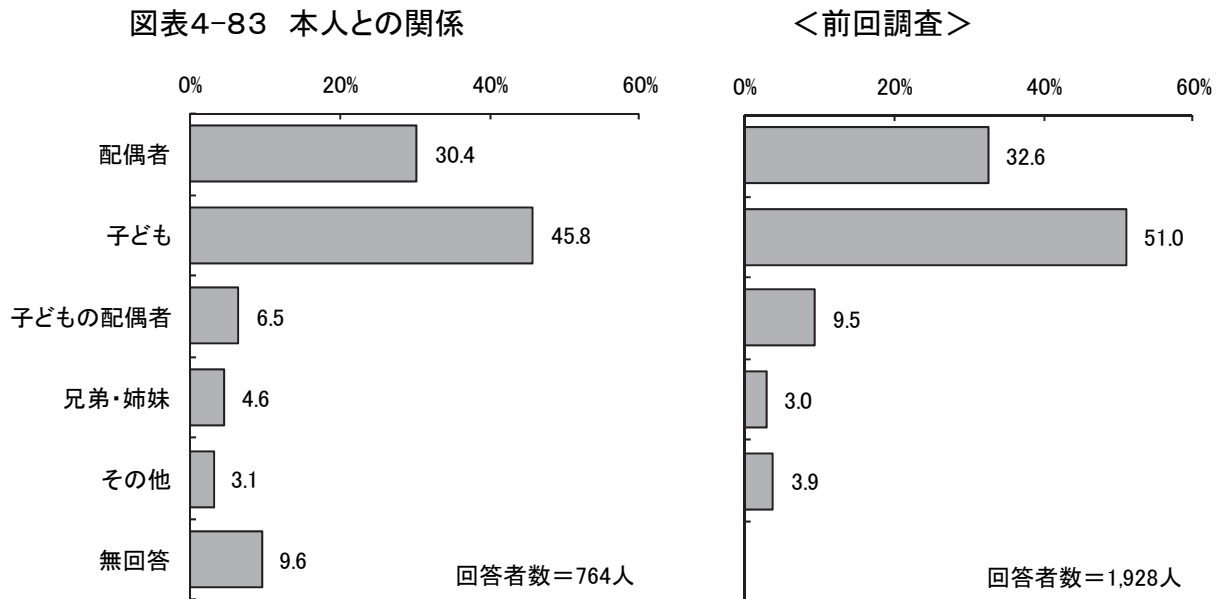
		回答者数(人)	いる	家族はいるが、介護してもらっていない・家族はいない	無回答
全体		1,146	66.7	26.2	7.2
家族構成別	ひとり暮らし	336	40.8	49.4	9.8
	夫婦のみ世帯 (配偶者は 65 歳以上)	280	73.9	17.9	8.2
	夫婦のみ世帯 (配偶者は 64 歳以下)	13	84.6	7.7	7.7
	世帯全員が 65 歳以上	45	84.4	6.7	8.9
	その他の世帯	420	81.9	15.2	2.9

2 主な介護者

問 42 あなた(介護者)ご自身についておうかがいします。それぞれあてはまる番号1つに○をしてください。

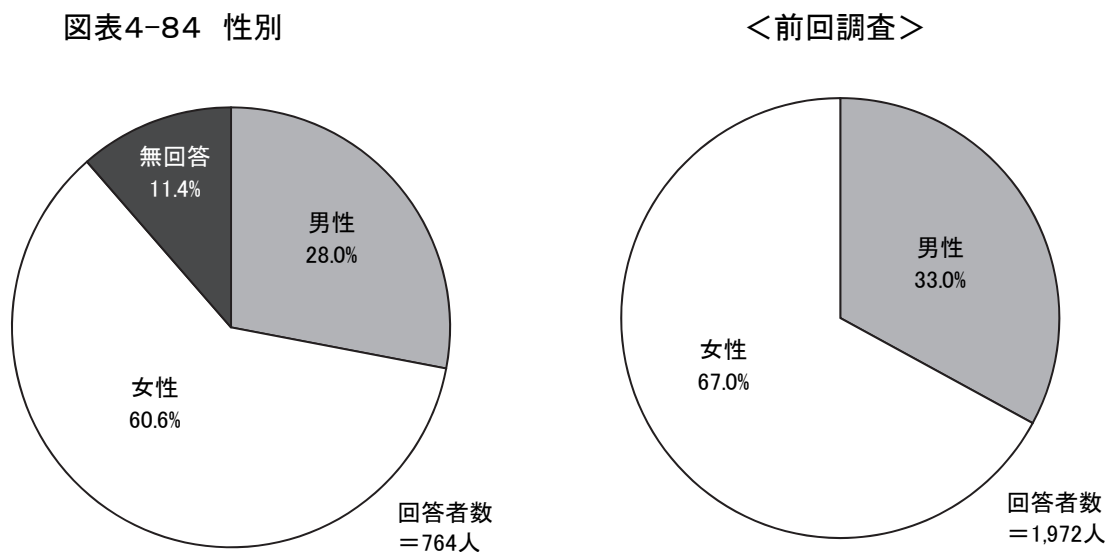
(1)本人との関係

介護者の続柄は、「子ども」45.8%、「配偶者」30.4%、「子どもの配偶者」が6.5%の順であり、前回調査とほぼ同様の結果となっている。



(2)性別

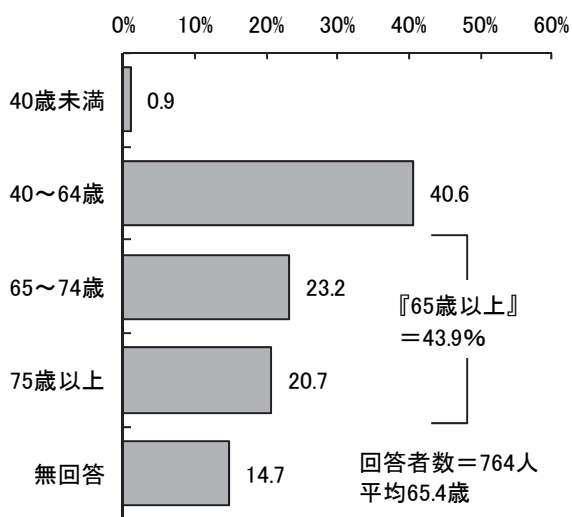
介護者の性別は、「女性」60.6%、「男性」28.0%と、前回調査とほぼ同様の結果となっている。



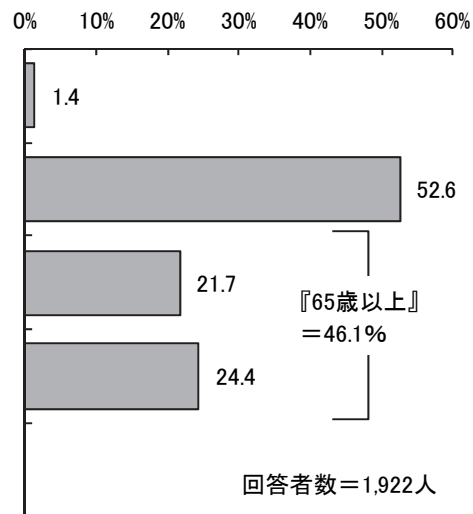
(3) 年齢

介護者の年齢は、「40～64歳」が40.6%ともっとも高いが、65歳以上も43.9%を占めている。

図表4-85 年齢



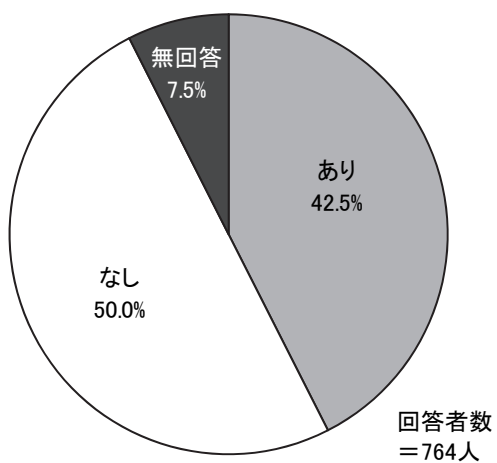
<前回調査>



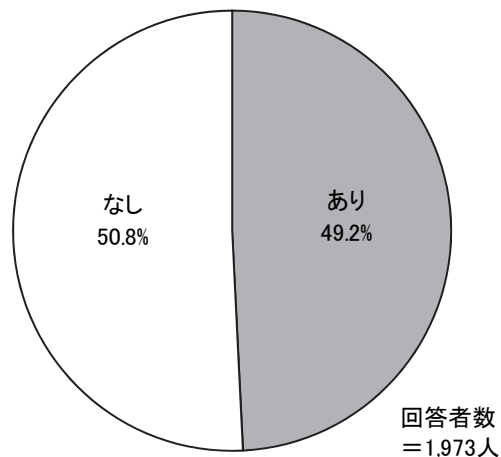
(4) 仕事の有無

介護者の仕事の有無は、「あり」42.5%、「なし」50.0%であり、前回調査とほぼ同様の結果となっている。

図表4-86 仕事の有無



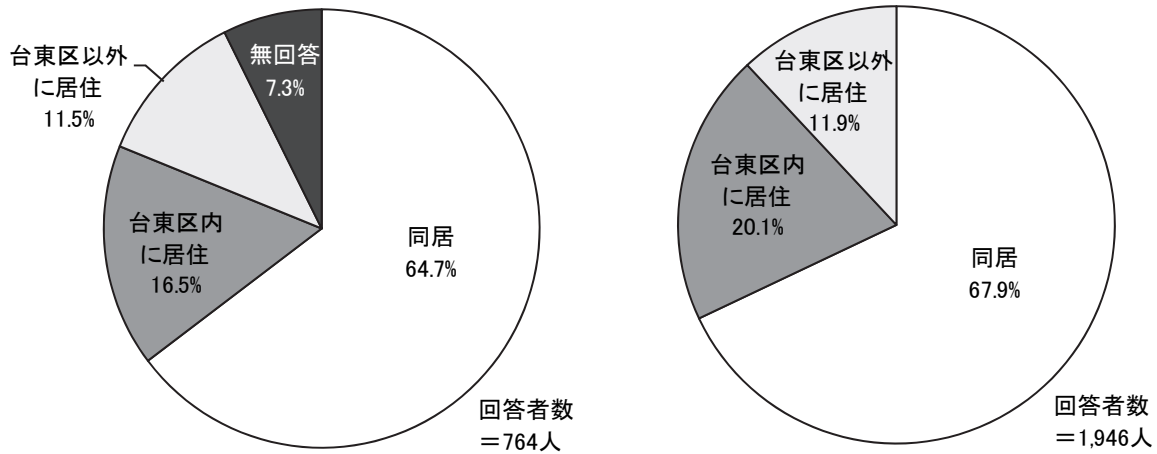
<前回調査>



(5) 居住の状況

居住の状況については、「同居」が64.7%ともっとも高く、「台東区内に居住」16.5%、「台東区以外に居住」11.5%と、前回調査とほぼ同様の結果となっている。

図表4-87 居住の状況



本人との関係別にみると、主な介護者が配偶者や子どもの配偶者である場合には「同居」が8割を超えている。子どもの場合には「同居」は56.9%であり、「台東区内に居住」が21.1%、「台東区以外に居住」が18.6%となっている。

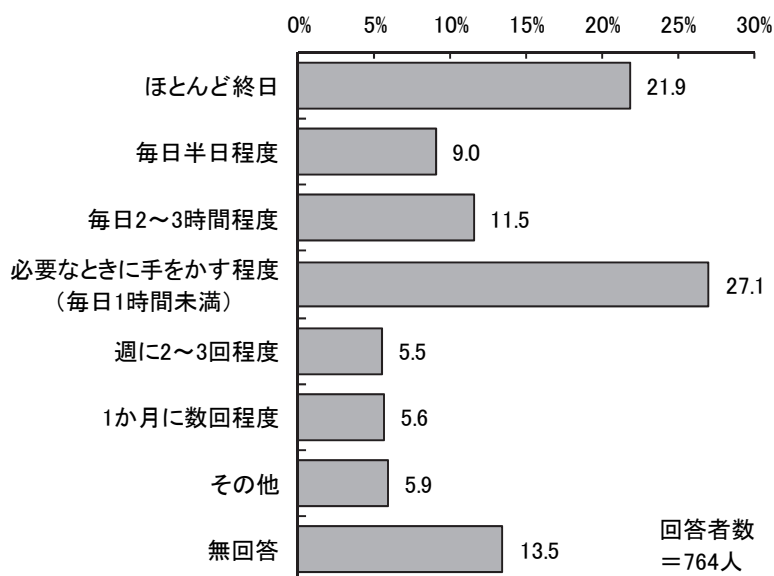
図表4-88 居住の状況

		回答者数(人)	同居	台東区内に居住	台東区以外に居住	無回答
全体		764	64.7	16.5	11.5	7.3
本人との関係別	配偶者	232	86.2	12.5	0.4	0.9
	子ども	350	56.9	21.1	18.6	3.4
	子どもの配偶者	50	84.0	10.0	6.0	0.0
	兄弟・姉妹	35	48.6	20.0	28.6	2.9
	その他	24	45.8	20.8	29.2	4.2

(6) 介護時間

介護時間は、「必要なときに手をかす程度（毎日1時間未満）」が27.1%ともっとも高く、次いで「ほとんど終日」が21.9%となっている。

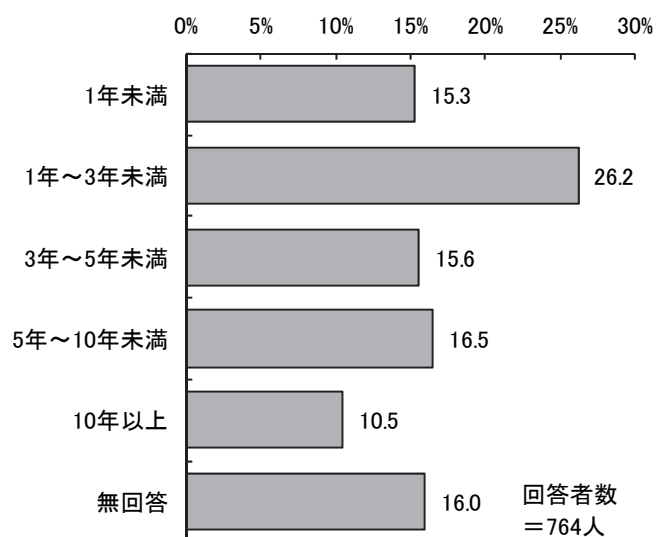
図表4-89 介護時間



(7) 介護期間

介護期間は、「1年～3年未満」26.2%、「5年～10年未満」16.5%の順となっている。

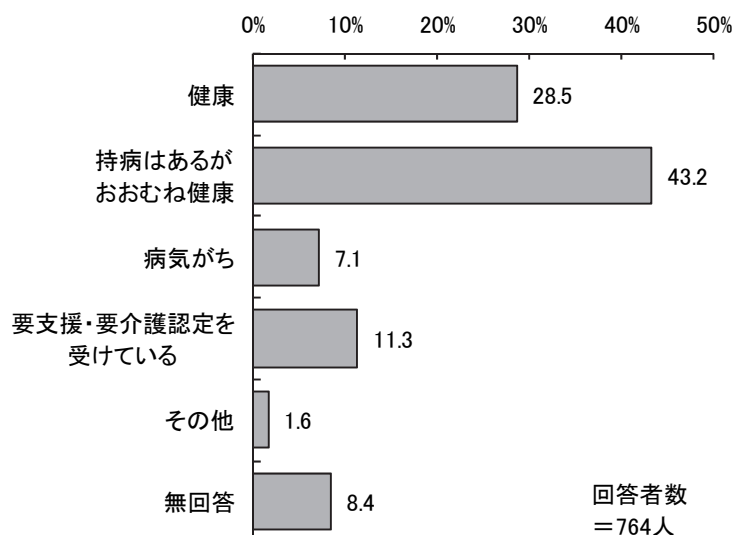
図表4-90 介護期間



(8)現在の健康状況

介護者の現在の健康状況は、「持病はあるがおおむね健康」43.2%、「健康」28.5%の順であり、「要支援・要介護認定を受けている」は11.3%となっている。

図表4-91 現在の健康状況



介護者の年齢別にみると、40～64歳では43.2%の人が「健康」と回答しているが、75歳以上では23.4%の人が「要支援・要介護認定を受けている」と回答している。

図表4-92 現在の健康状況

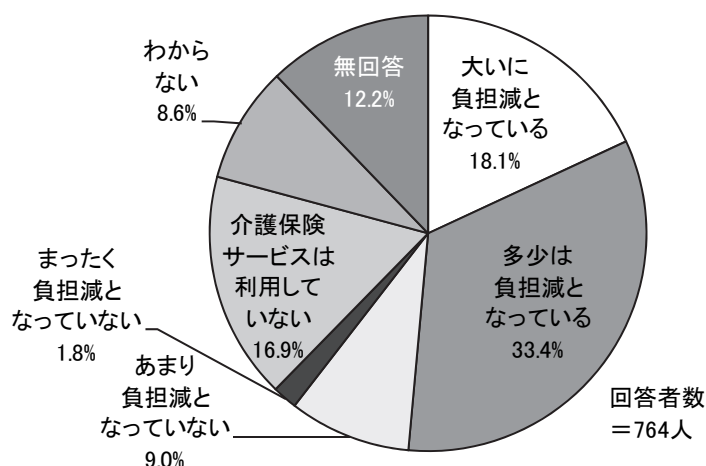
		回答者数(人)	健康	持病はあるがおおむね健康	病気がち	要支援・要介護認定を受けている	その他	無回答
全体		764	28.5	43.2	7.1	11.3	1.6	8.4
介護者の年齢別	40歳未満	7	28.6	57.1	0.0	0.0	14.3	0.0
	40～64歳	310	43.2	44.8	5.5	2.9	1.0	2.6
	65～74歳	177	24.3	49.7	9.6	13.0	2.8	0.6
	75歳以上	158	12.0	51.3	7.6	23.4	1.9	3.8

3 介護保険サービスによる負担の軽減状況

問 43 介護保険サービスは、あなた(介護者)の負担を軽くしていますか。(1つに○)

介護保険サービスによる負担の軽減状況は、「大いに負担減となっている」18.1%、「多少は負担減となっている」33.4%であり、これらをあわせた 51.5%が“負担減となっている”と回答している。また、「あまり負担減となっていない」9.0%、「まったく負担減となっていない」1.8%をあわせた 10.8%が“負担減となっていない”と回答している。

図表4-93 介護保険サービスによる負担の軽減状況



介護期間別にみると“負担減となっている”と回答した人は5年以上の人で6割を超えており、介護期間の長い人ほど負担減になっている割合が高くなっている。

図表4-94 介護保険サービスによる負担の軽減状況

		回答者数(人)	大いに負担減となっている	多少は負担減となっている	あまり負担減となっていない	まったく負担減となっていない	介護保険サービスは利用していない	わからない	無回答	『負担減となっている』	『負担減となっていない』
全体		764	18.1	33.4	9.0	1.8	16.9	8.6	12.2	51.5	10.8
介護期間別	1年未満	117	15.4	43.6	10.3	0.9	14.5	10.3	5.1	59.0	11.2
	1年～3年未満	200	18.5	32.5	12.0	1.5	21.5	10.0	4.0	51.0	13.5
	3年～5年未満	119	21.8	37.0	6.7	0.8	17.6	9.2	6.7	58.8	7.5
	5年～10年未満	126	23.8	42.1	7.1	2.4	15.1	4.8	4.8	65.9	9.5
	10年以上	80	26.3	33.8	12.5	3.8	13.8	6.3	3.8	60.1	16.3

※ 『負担減となっている』 = 「大いに負担減となっている」 + 「多少は負担減となっている」

※ 『負担減となっていない』 = 「あまり負担減となっていない」 + 「まったく負担減となっていない」

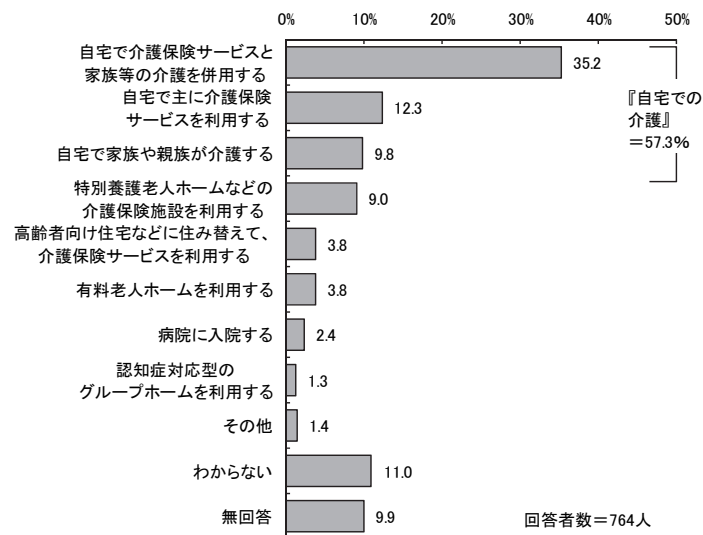
4 希望する介護方法

問 44 介護者の立場として、あなた(介護者)は、今後はどのような形での介護を望みますか。(1つに〇)

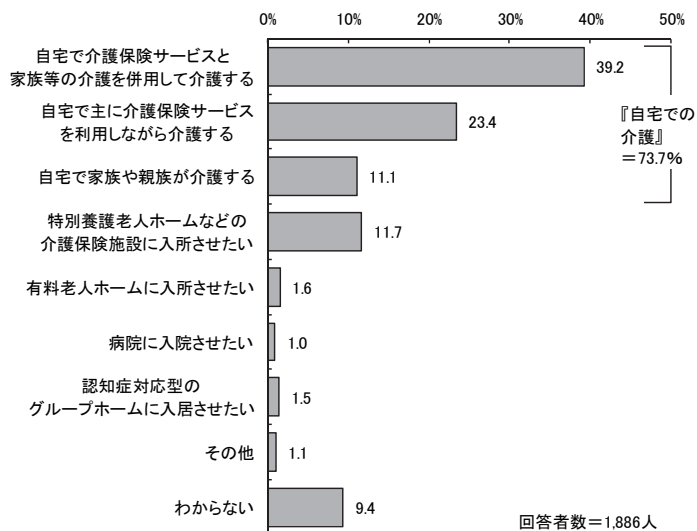
介護者が希望する介護方法は、「自宅で介護保険サービスと家族等の介護を併用する」が35.2%ともっとも高く、次いで「自宅で主に介護保険サービスを利用する」12.3%、「自宅で家族や親族が介護する」9.8%であり、これらをあわせた57.3%が、“自宅での介護”を希望している。また、「特別養護老人ホームなどの介護保険施設を利用する」と回答した人は9.0%となっている。

前回調査と比較すると、“自宅での介護”を希望している人の割合が低くなっている。

図表4-95 希望する介護方法



< 前回調査 >



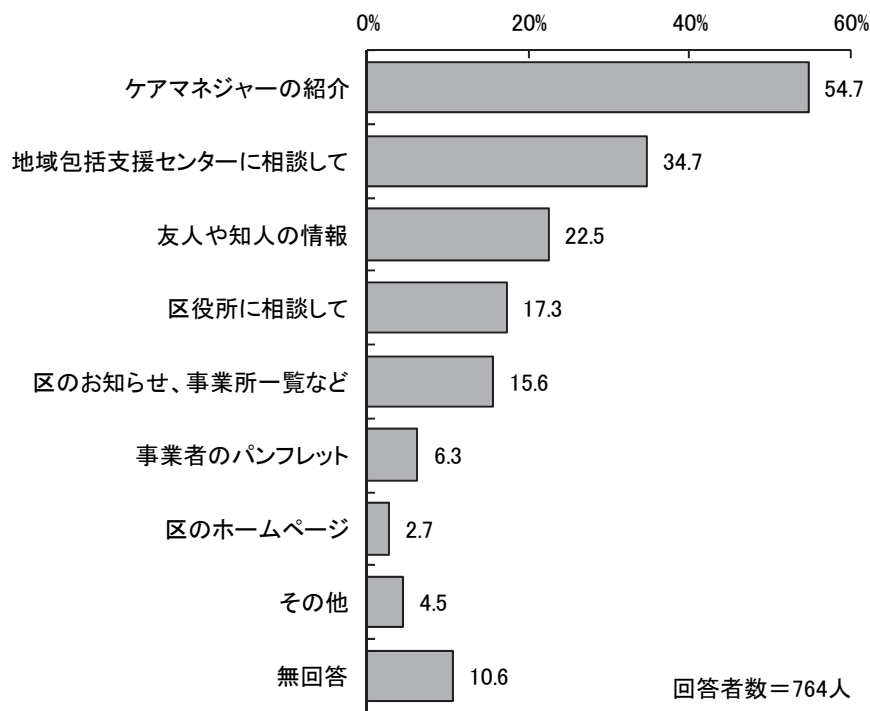
※ 『自宅での介護』 = 「自宅で介護保険サービスと家族等の介護を併用する」 + 「自宅で主に介護保険サービスを利用する」 + 「自宅で家族や親族が介護する」

5 介護保険サービス事業者の選定の方法

問 45 介護保険サービス事業者を選択する場合、どのような情報をもとに決めていますか。(あてはまるものすべてに○)

介護保険サービス事業者の選定の方法は、「ケアマネジャーの紹介」54.7%、「地域包括支援センターに相談して」34.7%、「友人や知人の情報」22.5%の順となっている。

図表4-96 介護保険サービス事業者の選定の方法(複数回答)

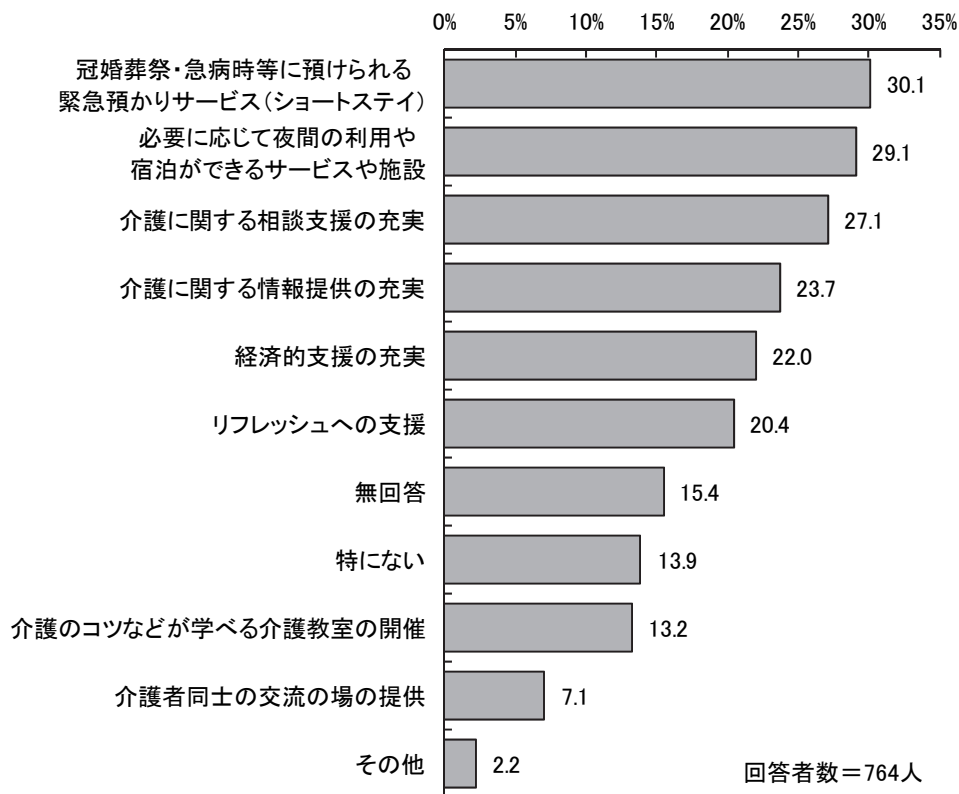


6 家族にとって必要な支援やサービス

問 46 介護しているご家族に対して、どのような支援やサービスがあるとよいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

介護者が家族にとって必要と考える支援やサービスは、「冠婚葬祭・急病時等に預けられる緊急預かりサービス(ショートステイ)」30.1%、「必要に応じて夜間の利用や宿泊ができるサービスや施設」29.1%となっており、一時的に利用できる宿泊サービスなどを必要としている人が多い。その他、「介護に関する相談支援の充実」27.1%、「介護に関する情報提供の充実」23.7%などがあげられている。

図表4-97 家族にとって必要な支援やサービス(複数回答)



介護保険サービスによる負担の軽減状況別にみると、大いにまたは多少は負担減となっている人では「冠婚葬祭・急病時等に預けられる緊急預かりサービス（ショートステイ）」及び「必要に応じて夜間の利用や宿泊ができるサービスや施設」が上位となっている。あまり負担減となっていない人では「冠婚葬祭・急病時等に預けられる緊急預かりサービス（ショートステイ）」に次いで、「介護に関する相談支援の充実」、「介護に関する情報提供の充実」の順となっている。

図表4-98 家族にとって必要な支援やサービス

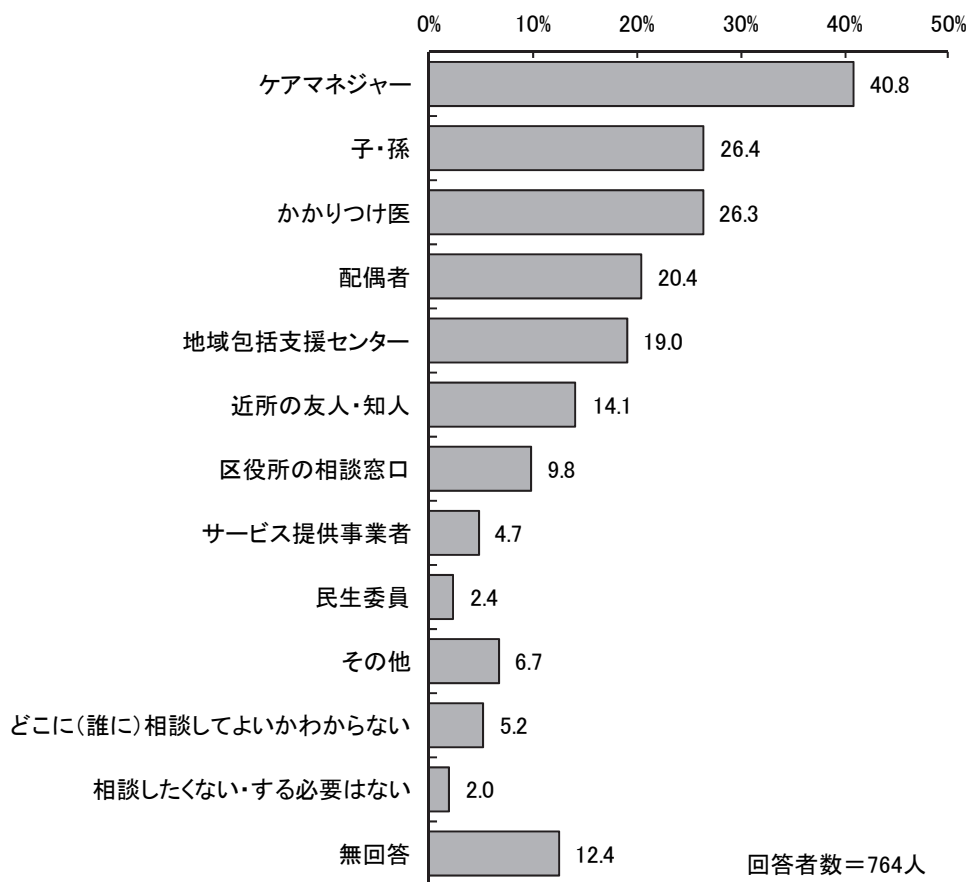
		回答者数(人)	冠婚葬祭・急病時等に預けられる緊急預かりサービス(ショートステイ)	必要に応じて夜間の利用や宿泊ができるサービスや施設	介護に関する相談支援の充実	介護に関する情報提供の充実	経済的支援の充実	リフレッシュへの支援	介護のコツなどが学べる介護教室の開催	介護者同士の交流の場の提供	その他	特になし	無回答
全体		764	30.1	29.1	27.1	23.7	22.0	20.4	13.2	7.1	2.2	13.9	15.4
負担の軽減状況別	大いに負担減となっている	138	46.4	41.3	31.2	29.0	21.7	26.8	14.5	8.7	1.4	12.3	7.2
	多少は負担減となっている	255	33.3	32.5	31.4	31.0	27.5	24.3	15.3	5.5	2.7	10.2	9.0
	あまり負担減となっていない	69	30.4	24.6	27.5	26.1	13.0	20.3	14.5	5.8	2.9	10.1	14.5
	まったく負担減となっていない	14	21.4	7.1	21.4	14.3	14.3	7.1	7.1	7.1	7.1	21.4	7.1
	介護保険サービスは利用していない	129	34.1	31.0	31.0	23.3	27.1	17.8	16.3	9.3	1.6	17.8	6.2
	わからない	66	15.2	25.8	18.2	10.6	21.2	18.2	9.1	6.1	3.0	22.7	21.2

7 介護に関する不安や悩みの相談先

問 47 あなた(介護者)は、介護に関する不安や悩みをどこに(誰に)相談していますか。
(あてはまるものすべてに○)

介護に関する不安や悩みの相談先は、「ケアマネジャー」が40.8%ともっとも高く、次いで「子・孫」26.4%、「かかりつけ医」26.3%、「配偶者」20.4%、「地域包括支援センター」19.0%などとなっている。また、「どこに(誰に)相談してよいかわからない」と回答した人も5.2%となっている。

図表4-99 介護に関する不安や悩みの相談先(複数回答)



Ⅸ 自由回答

問 48 高齢者福祉・介護保険制度・健康などに関して、区への要望や意見がありましたら、下の欄にご記入ください。

区への要望や意見は 248 件であり、主な内容は、「高齢者福祉サービス・介護保険サービスについて」97 件、「介護保険制度について」19 件、「今後不安なことについて」17 件となっている。

■ 高齢者福祉サービス・介護保険サービスについて

- ・ 区にいる高齢者の人数をもとに、介護保険施設をもっと増やすべき。施設を増やせば雇用も増え、区民を増やす事もできるのではと思う。
- ・ 介護保険施設の待機者の解消のため、高齢化したアパートを借入れるなど、有効活用してはどうか。
- ・ 台東区や近い都市は高額なので、コストのかからない施設が近くにあるといいと思う。
- ・ 台東区は他より福祉サービスが良いと聞いている。いろいろ知らなくて、今までもったいなかった。
- ・ 寝たきりにならないように、気軽に運動できる場所が近くにあると良いと思う。
- ・ ショートステイの利用の際、皆で体操をしたり歌を歌ったり、デイサービスと同じようなサービスが受けられると良い。
- ・ 短い時間で終わらないサービス（ヘルプ）を考えて欲しい。
- ・ 地域で支えるシステムをつくって欲しい。

■ 介護保険制度について

- ・ 申請方法を簡単にスムーズにできるようにして欲しい。介護認定が決まるまで時間がかかるため、もっと早く決まると良い。
- ・ 介護家族には個々に色々な状況があり、一定の線引きでサービスを受けられるかどうかが決まってしまう事には、無理があると思う。個々のケースを見て欲しい。
- ・ 介護保険制度を有難く利用させていただいているが、同居の場合、利用できないサービスもあるので、できるだけ公平にお願いしたい。
- ・ 介護保険制度がわかりづらいため、定期的に情報誌などができるとありがたい。
- ・ 年金が少ないので、保険料がもっと低いといい。

■ 今後不安なことについて

- ・ これから先だんだん体が動かなくなった時が心配である。
- ・ 介護者の仕事がなくなった後の経済的状态を考えると、多少の不安がある。
- ・ 介護者が病気になる時が不安なため、その時相談できたらと思う。
- ・ 認知症なので、いつどのようになっていくか、先の事が不安である。
- ・ 近い将来、消費税・介護保険の値上げ、年金の減少等が不安である。

■ 介護者支援について

- ・ 私自身身体調が悪く、母親を1人で介護しているので、緊急時にショートステイに預けられるよう、スピーディに対応してもらいたい。
- ・ 介護している者の立場になって、困っているときにすぐに利用できるものにして欲しい。
- ・ 講演会では、介護者の立場に立ったアドバイス、励ましになるような話を聞きたい。
- ・ 毎日介護をしているが、長い時間の外出が思うように出来ない。介護を受けている方も辛い状態だが、介護者を支援する事も考えて欲しい。

■ 地域での見守り・社会参加・情報提供について

- ・ 夜の徘徊が不安。見守りをして欲しい。
- ・ 徒歩で行けて、お茶が飲めたり、マッサージ機が使えたりする、ちょっとした高齢者の交流の場があると良いと思う。
- ・ どういったサービスがあるか、情報が欲しい。
- ・ 現在、老人福祉館へ月に何回か行っている。いろいろな人と知り合ったり、情報を得たり、大変役に立っている。このような施設がもっとたくさん出来ると良いと思う。

■ その他

- ・ 健康体操など、無料で利用出来るようにして欲しい。
- ・ 申請に関係なく、ひとり暮らしの高齢者を定期的に訪問して、現在困っている事、不便な事等を聞いて欲しい。
- ・ 手続きや書類をシンプルにして欲しい。
- ・ 高齢者向けの色々な催しには、もっと参加しやすいネーミングか、出て行きやすいお誘いがあればと思う。
- ・ 関係機関の横のつながりをより深めて欲しい。